

縮尺 20 万 分 の 1

土地分類図付属資料

(山形県)

昭和 48 年 3 月

経済企画庁総合開発局

縮尺 20 万分の 1 土地分類図付属資料

目 次

利用者のために

A	土地条件等の概要の部	1
1.	地形区分とその性状等の概要	1
2.	表層地質の分布とその性状等の概要	3
3.	土壌統群の分布とその性状および生産力可能性等の概要	9
4.	土地利用可能性分級等の概要	12
4-1	土地利用現況の概要	12
4-2	土地利用可能性分級の地域別の概要	15
B	統計の部	18
1.	土地利用現況	18
1-1	土地利用現況別面積市町村別内訳(県統計資料による)	18
1-2	D・I・D おおむね 10 人以上の都市の土地利用現況の内訳(県統計資料による)	
2.	自然的土地条件	22
2-1	傾斜区分別面積市町村別内訳	23
2-2	標高区分別面積市町村別内訳	23
2-3	地形区分別面積市町村別内訳	25
2-4	表層地質分布面積市町村別内訳	28
2-5	土壌統群分布面積市町村別内訳	32
3.	土地利用可能性分級	36
3-1	土地利用可能性分級別面積市町村別内訳	44
3-2	土地利用可能性分級と自然条件との関連	44
3-2-1	土地利用可能性分級と地形区分との関連	46
3-2-2	土地利用可能性分級と傾斜区分との関連	46
3-2-3	土地利用可能性分級と標高区分との関連	46
3-2-4	土地利用可能性分級と土壌生産力可能性との関連	46
3-3	土地利用可能性分級別主要地域の概要	48
3-4	土地利用可能性分級別市町村別内訳	50

土地分類図等の 名称		1 地 形 分 類 図	2 傾 斜 区 分 図	3 起 伏 量、 谷 密 度 図	4 表 層 地 質 図 (平面的分類図)	5 表 層 地 質 図 (垂直的分類図)	6 土 壤 図	7 等 級 区 分 図 土 壤 生 産 力 可 能 性 図	8 土 地 利 用 可 能 性 分 級 図 (土地利用現況図)	9 土 地 利 用 可 能 性 図	10 標 高 区 分 図	11 都 道 府 県 統 計 等
3-2-1	土地利用可能性分級と地形区分との関連	○								○		
3-2-2	土地利用可能性分級と傾斜区分との関連		○							○		
3-2-3	土地利用可能性分級と標高区分との関連									○	○	
3-2-4	土地利用可能性分級と土壌生産力可能性との関連							○		○		
3-3	土地利用可能性分級別主要地域の概要	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
3-4	土地利用可能性分級別市町村別内訳									○		○

II 利用上の留意事項

土地分類図の各図から測定された項目別パターンの面積値は、各図の図示表現の技術的な制約、すなわち縮尺 20 万分の 1 の土地分類図の場合には最小図示単位として 1 km² (図上では 5 mm 四方) を原則とし、特殊な場合においても最小径 4 00 m (図上で 2 mm) を限度としたため、実在の面積とは一致しない場合もあると考えられる。とくに、パターンの小さい性格をもつ分類項目にあつては、やや少な目に数値が出る傾向がある。

したがって、この統計表を各種資料として使用する場合には、項目ごとの絶対値を使用するのではなく、概括的把握ないし、項目の構成比率等を用いるようにされたい。

III 表中の記号について

- 「0」は数値が掲載単位に満たないもの
- 「-」は該当事実のないもの
- 「 」(空白)は編集時において資料がなく不明のもの

IV 県統計等の資料について

ア 市町村別面積

- 「山形県統計年鑑」(山形県統計課)
- 「全国都道府県市町村面積」(建設省国土地理院)

イ 土地利用現況別面積

「山形県統計年鑑」、「農業センサス」の外、林務課、畜産課、耕地課等の資料により調整した。

ウ D.I.D. 10 万人以上の都市の土地利用現況の内訳

関係市に照会作成した。

V 調査機関一覧

総括調整	山形県農林部農地開拓課	山形市旅籠町 3-4-51	〒990
地形分類	山形大学教育学部	山形市小白川町 1-4-12	〒990
表層地質	山形県商工労働部商工課	山形市旅籠町 3-4-51	〒990
土壌	山形県農業試験場	山形市鉄砲町 2-10-75	〒990
	山形県林業指導所	寒河江市大字寒河江丙 2708	〒991
	秋田営林局計画課	秋田市中通 5-9-16	〒010
土地利用現況	山形県農林部農地開拓課		
	山形県農業試験場		
	山形県林業指導所		
土地利用可能性分級	同上		

A.土地条件等の概要

1 地形区分とその性状等の概要

1-1 地形の特色と地形区分

山形県は東から順に、奥羽山脈、内陸盆地群、出羽山地および朝日、飯豊山地、庄内平野と配列する。山形県の地形にはグリーンタフ地域の特色がよく現われている。すなわち、第三紀層の丘陵・山地は、その上に第四紀に噴出した火山を数多くのせており、丘陵・山地そのものは構造的に分断されて地壘や地溝を呈したり、ケスタや地すべり地形などもみられる。一方、これらの山地・丘陵にへだてられている盆地・平野群は、台地・段丘の発達する開析盆地や沖積扇状地がひろがる堆積盆地、あるいは三角州が主部を占める平野、と多彩な形態をみせている。

これらとやや性質を異にするものは、西南部を占める朝日、飯豊山地で、花崗岩類からなる大起伏・急峻な地塊山地である。また日本海上の飛鳥は全島ほとんどが海岸段丘からなる。

1-2 山地・火山地

山形県の山地・火山地は奥羽山地、出羽山地、朝日・飯豊山地の3者に区分される。前2者は新第三紀層からなる山地が主であるが、所々に花崗岩などからなるやや基盤の高い部分がある。この上に新期火山が噴出しており、特に鳥海山と月山とは広い裾野（火山山麓地）を有するので火山本体と2分した。奥羽山地では、蔵王・吾妻の両火山以外は調査が進んでいないものが多く、火山本体はこれまでのべられていた範囲よりもかなり狭く、また噴出時期も古いものが多いので、特に火山地としては独立させず、周辺の山地と一括して地形区を設定した。白鷹火山は奥羽・出羽両山地の中間的な位置にあり、性状も両者のそれをあわせもつが、この分類では一応出羽山地に包括した。向町盆地は古いカルデラであるという説もあり、火山灰台地が発達する特異な盆地であるが、位置的にも奥羽山地中にあり、かつ宮城県側の鳴子・鬼首地域と連続する性格をもつので、ここでは奥羽山地の中に入れてある。

朝日・飯豊山地は花崗岩類からなる広大・急峻な地塊山地で、起伏量・谷密度ともに大きい。小国盆地は、この両地塊山地の間に位置する山間の谷底平野からなり、位置・構造・規模などの点で、内陸盆地よりも朝日・飯豊山地の中に入れての妥当であると考えられる。

起伏の大・中・小はメッシュの起伏量階級を参考にしたが、山地全体もしくは流域ごとにくる場合や、明瞭な傾斜変換線を境として区分する場合など、実際の地形形態に適合するよう配慮した。

山麓地は丘陵地には入れにくいもの、例えば山地に小面積付着するものその他を包括した。すなわち、断層崖下の崖錐地、上部を火山泥流（区分上は火山山麓地）に被覆され山麓の1部のみが出ているもの、ケスタの緩斜面などを含む。

1-3 丘陵地

丘陵は各平野・盆地の周辺に広く分布する。庄内平野東方には、南北にのびる地壘状の丘陵があり、最上川によって2分されるので、北を飽海丘陵地、南を羽黒丘陵地とした。

内陸盆地では、各盆地の主として西方に丘陵が広がる。これらのうち、代表的なものは米沢盆地西方の玉庭丘陵地で、定高性を有し、赤色土がよく発達する。これらのほか、山形盆地西方丘陵地には白鷹火山北方の丘陵や左沢付近の丘陵などが含まれ、新庄盆地付近には、新庄盆地周辺丘陵地と、盆地内や盆地東縁に分布するいわゆる西山・東山などの丘陵とがある。

ケスタ性の山地・丘陵の場合は、緩斜面を山麓地として表現した。

また、鳥海・月山・蔵王・白鷹等の火山の泥流地域は溶岩流の緩斜部とともに火山山麓地とし、溶岩流や泥流が開析され、その下方に二次的堆積物がおし出されたいわゆる裾野扇状地（火山山麓扇状地）が鳥海南麓にあり、これも含まれる。

1-4 台地

台地は、砂礫台地およびローム台地の2者のみとし、岩石台地は記載しなかった。岩石台地は面積がきわめて小さいか、あるいは薄く砂礫をのせるものが多いためである。ローム台地には、いわゆる軽石台地・シラス台地および平坦面をもつ泥流台地などを含めた。したがって砂礫段丘上に薄くロームをのせるものは砂礫台地に区分されている。

砂礫台地における上位・中位・下位の各面の区分は、一応の目安として、いわゆる下末吉面相当段丘以上の面を上位面、武蔵野・立川面相当段丘を中位面、青柳面相当段丘以下を下位面とした。これは、山形県内の段丘面の区分に対比させると、上位面は内陸の猿羽根面群、庄内の小波渡面群に対比され、中位面は内陸の尾花沢Ⅰ面および庄内の狩川面群の下位面（20 m面、羽黒面）、下位面は内陸の尾花沢Ⅱ面（沖積高位面の1部を含む）などが代表的なものである。

台地の発達は、新庄・尾花沢・向町のいわゆる最上盆地群において顕著であり、他地域との間に峡谷部がはさまれるので、全地域を対比させるには相当の困難があった。また小面積の段丘面も多く、微細なものは隣接の他種の団地に含めた。

砂礫台地の大部分は河成段丘であるが、内陸盆地には、上山盆地や米沢盆地北西の伊佐沢付近をはじめ、各所に湖成段丘面と思われるものが残っている。

海成段丘はあまり発達せず、飛鳥台地のほか、庄内平野東縁に断片的に付着するものと、庄内南部の磯浜の小波渡付近にみられる程度で面積的には小さい。

ローム台地に含めたもののうち、向町盆地におけるローム台地上位面は、丘陵ないしは上位台地の上に厚く、いわゆるシラスを堆積させているものである。月山火山地に含まれる中位面は平坦面を有する泥流で、泥流台地とも称すべきものであり、他の起伏が多くflow moundsをもつ通常の泥流とは区別してある。

肘折火山性台地に含まれるローム台地中位面および下位面は、ともに主として軽石からなり、中位面は肘折カルデラから流下した軽石流台地、下位面は肘折カルデラ湖内の湖成堆積物の開析されたものである。

1-5 低地

低地は庄内平野・山形盆地・米沢盆地に特によく発達する。低地の区分は三角州性低地・扇状地性低地・自然堤防および砂州の3区分となっている。このため庄内平野では三角州性低地、山形・米沢両盆地では扇状地性低地が主となる。しかし扇状地と三角州との間の中間的・漸移的な部分については、自然堤防のみが独立させて図示できるが、この背後に広がる後背湿地や扇状地前縁部と称すべき部分については三角州・扇状地のいずれかに加えなければならず、本図では庄内平野においてはこの部分を主として三角州性低地へ、内陸の山形・米沢盆地では主として扇状地性低地に含めてある。内陸において三角州性低地としたものは、湖成層・泥炭層の発達する米沢盆地北東部の白龍湖を含む大谷地などの低湿地が主である。

これらの低地の中には、若干の開析をうけているものも多く、例えばいわゆる庄内三角州は低地面を約6 m下刻されており、また山形盆地南部の須川沿岸の低地も河床から約13 mの比高をもち段丘化しているが、その構造や形成期などからみて、低地に区分する方が妥当と考えた。（これらの低地の段丘化は、庄内平野では新期の地盤運動、山形盆地では上山湖盆地を形成した泥流せき止め部の開析など、特別な要因があったと考えられる）。

扇状地の中には開析の程度の大きなものもあり、例えば山形盆地の乱川扇状地、立谷川扇状地、米沢盆地南縁の扇状地群などは部分的には台地として表現した。

庄内平野西縁には庄内砂丘が広がり、2～3列の砂丘脈が海岸線に平行して走り、構造的には、黒色砂層を境に古砂丘の上に新砂丘が重なっている。

1-6 その他の特色ある地形

山形県の特色ある地形は、地すべり地形である。月山西方の大網付近に広い面積を占める地すべり地形があるが、このほか、出羽山地（出羽丘陵）帯など多くの山地～丘陵地内にみられる。これらは山地丘陵地内では相対的にはマイナス地形であり、凹地形であり、緩傾斜でもあるが、台地・低地に比較すれば起伏が大きく、中間的な性格を有する。これら地すべり地形のうち、現在活動しているものは、そのごく一部分にすぎない。

次に目をひくのは、月山の南北にのびる直線状の構造性の急崖である。南は大井沢川の東岸に沿う急崖であり、北は立谷沢川に沿う狭い地溝状の構造谷である。鳥海山はこの谷の北方延長上に噴出している。この大井沢の急崖のほか、朝日地塊山地周辺には、長井盆地に望む葉山断層崖、麻耶山北方の母狩山断層崖、小国西方の越戸断層崖など構造性の急崖が多い。

米地文夫（山形大学）

2 表層地質の分布とその性状等の概要

2.1 地質構成

2.1.1 岩石山地

- 2.1.1.1 古生界、中生界からなる山地
- 2.1.1.2 新第三系からなる山地
- 2.1.1.3 第四紀火山岩類からなる山地

2.1.2 火山山麓

2.1.3 洪積台地、段丘、沖積地

2.2 地質系統

山形県の表層をしめる岩石および堆積物は、花崗岩類をのぞく古生界、中生界をほとんど欠き、新第三系および第四系を主体としており、第四系も他地域にみられるような洪積統の酸性火山岩類の発達がとぼしいため、一般に単調である。しかし、新第三系は、多種多様の岩石から構成され、画一的な分類はかなり困難である。

表層地質図(I)（平面的分類図）は、まず本調査において定められた分類基準にしたがい、未固結堆積物、固結堆積物、火山性堆積物、深成岩、変成岩の5つに大別し、さらにそれぞれの岩相にしたがって小分類を行なったが、その際、若干の補助的分類を独自に設定した。これは、独立した項目とした方が、開発、地質構造の解明等に積極的に役立つと考えられるものについて行なった。たとえば、本県内に広く分布しているいわゆるグリーンタフについては、定められた凝灰質岩石と集塊岩および凝灰角礫岩の

地質時代			絶対年代 (百万年)	新第三系 の標準時階	碎屑岩(物) (未固結～固結堆積物)	火山性			
						火山碎屑岩(物)			
新 生 代	第四紀	沖積世	0.01		砂丘堆積物、河成堆積物 湖沼・瀉堆積物・崖錐堆積物 段丘堆積物(低位)	火山泥流			
		洪積世			段丘堆積物(高位・中位) 山砂利、崖錐堆積物	降下火山碎屑物(ローム・軽石)、軽石流堆積物(一部溶結)			
	新第三紀	鮮新世	2		鮪川	砂岩 礫岩、砂岩、泥岩互層 褐炭、亜炭をはさむ			
					脇本				
	第三紀	中新世	1.3		北浦	泥岩(庄内平野東部) 泥岩(庄内平野東部～新庄盆地～山形盆地西部)	酸性火砕岩(軽石凝灰岩、細粒凝灰岩、溶結凝灰岩) (赤倉層、西原層、山寺層、泥部層、呑岡山層、赤湯層、ザル層、板谷層)		
					船川				
					女川				
					西黒沢		泥岩 泥岩・砂岩互層(小国盆地) 砂岩(丹生川上流) 礫岩(小国盆地)	酸性火砕岩 玄武岩質火砕岩(上市市六角付近、温海町鬼坂峠付近)	
					台島		泥岩 礫岩・砂岩互層 礫岩	安山岩質火砕岩(山形・米沢盆地) 南半	
					門前			安山岩質火砕岩(新庄盆地) 酸性溶結凝灰岩(小国盆地、新庄盆地)	
	古第三紀		2.5						
	中生代	白亜紀	7.0				酸性溶結凝灰岩		
ジュラ紀		135							
三疊紀		225							
古生代	二疊紀	270			砂岩、泥岩(ホルンフェルス等 変成岩に变化)				
	先二疊紀								

(注) 盆地は、堆積盆地的に用いており、平地のことではない。

岩 石	地 史	資 源	そ の 他
火 成 岩			
	① 第四紀安山岩質火山活動 (那須、鳥海火山帯) ② 低地地形の形成(沖積面)	地下水、礫、砂	地すべり(温泉化作用) 火山景観
安山岩(鳥海、月山、蔵王等)石英安山岩(肘折)流紋岩~黒よう岩(月山西部)	② 扇状地、段丘、台地、古赤色土の形成、 ③ 内陸盆地形成、酸性火山活動(現在の)	パーライト、カオリンナイト、セリサイト、酸性白土、礫、砂	峡谷の形成
安山岩(三吉葉山?)	④ 堆積盆の分化 内陸盆地の形成(垂炭田)	亜炭	
酸性火山岩(岩脈) 玄武岩、粗玄武岩(岩床、岩脈)	④ ⑤ 陥没性酸性火山活動	褐炭 けい砂 石材 ゼオライト ベントナイト	地すべり 山寺付近の奇岩 地すべり 庄内海岸の岩石海岸(玄武石)
玄武岩 安山岩 酸性火山岩 } 水冷破碎 溶岩流多し	最海進、海底火山活動激化	金属鉱床 工業用鉱物(パーライト、石こう、ベントナイト、カオリンナイト)	地すべり
安山岩(山形、米沢盆地)	↑ 海 西田川炭田の形成 進	骨材(各種火山岩) 石炭(西田川炭田)	
安山岩(新庄盆地)	火山活動開始(おもに陸地) 基盤岩に断裂、陥没開始(陸地)	骨材(溶結凝灰岩)	
花崗岩類	深成岩(花崗岩類)の進入、 酸性陸上火山活動(陸地)	モリブデン、アンチモニー、 長石、けい石、骨材	アルパインフォームの 山岳美
	海 域		

みでなく岩質、時代等によってさらに細分化した。また、泥岩についても、凝灰岩類をしばしばふくみ、地すべりの素因となっているような岩質についても別に項目をもうけた。

さらに、色相・記号により分類した岩相に、岩片・岩体のかたさおよび地質時代の記号、岩種の略号を記した。

表層地質図(Ⅱ)(垂直的分類図)は、岩石山地では、風化殻の深度、他の地域では、地表下一定の深さまでの構成物質の概要を表現したが、凡例に示してあるように、あらかじめこの地域の表層における模式的層席型をいくつか設定し、それぞれに該当する地域を区分した。この区分は、全域的な地下の調査は不可能であるので、露頭、ボーリング資料より地質現象を考慮に入れて推察したものである。岩石山地における風化深度は、同一岩質については、同一風化状態にあるものとみなして表現している図幅もあるが、そういうことは例がすくなく、古赤土土化作用などは、岩質をえらばずに地域に行なわれているので、本図幅では、かならずしも岩質と風化状態は一致させていない。

2.1 地質構成

山形県は、東北日本内帯のグリーンタフ地域にふくまれ、黒色片岩およびホルンフェルスからなる古生界、変質酸性火山岩類(酸性溶結凝灰岩)および花崗岩類からなる中生界を基盤として、新第三系が厚く発達している。新第三系は、さまざまな半固結ないし固結堆積物および火山性岩石から構成され、地質構造も複雑である。両者は、岩石山地の大部分を構成し、金属鉱物、工業用鉱物、骨材用岩石などの資源はほとんどこのなかに胚胎されている。

第四紀の火山活動は、けい質と安山岩質の二つの活動にわけられる。前者は、洪積世に噴出し、その噴出物は新庄盆地周辺の台地をおもに構成し、シラスおよび酸性溶結凝灰岩からなり、活動は小規模で噴出物の分布も小区域的である。分布面積の関係から本図には表現しなかったが、月山西麓の朝日村大綱、蘆引町梳代付近のいわゆるパーライトは、月山の旧期火山砕屑物中に貫入した加水火山ガラスからなる溶岩である。後者は、洪積世後期～沖積世に噴出し那須火山帯と鳥海火山帯にふくまれるものに大別され、那須火山脈は、奥羽脊梁山脈と平行しており北から舟形、面白、瀬ノ原、蔵王、吾妻等、鳥海火山帯は、出羽丘陵に平行しており、鳥海、月山、葉山、白鷹(後二者は、中間的位置にあるが、山形盆地の平地で蔵王火山とへだてられているので便宜上鳥海火山帯にふくめた)等多数の火山が分布している。いずれも岩石山地を構成している。これらの火山は、成層火山もしくは複合火山であり、ほとんど火山泥流を伴っており、広く新第三系をおおっており、火山山麓を構成している。

第四系の未固結～半固結堆積物は、庄内平野、内陸盆地内の平地およびその周辺の河谷平地、台地、段丘などを構成している。

つぎに、(1)岩石山地、(2)火山山麓、(3)洪積台地・段丘・沖積地にわけそれぞれについて概要を説明する。

2.1.1 岩石山地

2.1.1 古生界、中生界からなる山地

古生界および中生界は、山形県の新第三系の基盤岩となっている。本邦の基盤構造の区分からは、山形県北部に分布するものが阿武隈帯にふくまれるほかは、全部足尾帯にふくまれる。

古生界は、山形県南部にのみ分布している。国道13号線栗子旧路線北東方には、角閃岩ないし角閃石片岩がややまとまって分布しており、黒色片岩として表現した。米沢市関根付近の古生界には、石灰岩の露頭がみられ、スカルン鉱物が生成されている。また、小樽川西方、小国盆地の荒川の各支流上流部にも古生界が分布しているが、いずれも程度の差こそあれ、花崗岩の進入による熱変質をこうむりホルンフェルスとなっている。原岩は、泥岩および砂岩と考えられる。

中生界のうち、変質酸性火山岩類は、濃飛流紋岩や奥日光流紋岩とおなじように、中生代白亜紀の陸上火山活動によって生成されると考えられ、原岩は、強溶結凝灰岩であるが、花崗岩類の進入等による

変質をこうむったものである。柱状節理が発達し、いちぢるしくかたいため骨材としては最適である。これは、近年報告されたもので、従来は、新第三紀の火山岩、花崗斑岩、細粒花崗岩などとして記載されたものである。現在のところは、朝日山地北部～麻耶山地にかけて分布することが知られている。

花崗岩類は、古生界および中生界の酸性溶結凝灰岩を貫らぬいており、それらに変質を与えている。岩相は、おもに閃雲花崗閃緑岩であるが、真正の花崗岩もみられる。朝日山地および飯豊山地には広大に分布している。また、新庄盆地東部の神室山地等には、新第三紀に進入した花崗岩類がみられる。米沢、山形盆地周辺に窓状に分布しているものは、風化がはげしくいわゆるマサを呈している。資源的にはあまり重要でないが、中新世中期の頃に風化して固結したアルコーズ質砂岩には、ウラン鉱物をふくんでいる。朝日、飯豊山地は、東北日本でめずらしいアルパインフォームの山容を呈し急峻である。

2. 1. 1. 2 新第三系からなる山地

飯豊山地、朝日山地および神室山地と火山山地をのぞく全山地の大部分を構成している。

小国盆地周辺の山地は、おもに中部中新統が分布しているが、荒川峡谷一横川線以东にはおもに下部中新統の酸性溶結凝灰岩が基盤に隣接して分布しているほか、中部中新統は、礫岩、砂岩、泥岩およびそれらの互層から構成される。上記線以西には、酸性火山砕屑岩からなる中部中新統がおもに分布しており、金属鉱床が多数みられる。

米沢盆地周辺の地質構造は、盆地北部・大樽川流域の花崗岩体から吉野川中流の花崗岩まで、盆地地下を通過しているN-S方向の高重力異常地帯に大きく規制されている。すなわち、重力異常地帯以西の山地は、一般に新第三紀を通じ沈降環境域を持続し、泥岩が厚く堆積し、中新世後期から鮮新世にかけては、亜炭田を形成し、亜炭をはさむ礫石・砂石・泥岩の互層が分布している。大樽川～小樽川にかけて分布している泥岩は、その東西に分布している基盤岩の差別的上昇により逆転をふくむいちぢるしいN-S方向の褶曲構造が発達し、北方にしたいに消滅し、NNW-に開らくベーズンとなっている。その境界付近に、流紋岩～石英安山岩がみられ、黒鉱鉱床が存在している。泥岩相のやや上部には、ベントナイト化した軽石凝灰岩を多数はさみ、上部の夾炭層とともに地すべりの素因となっている。重力異常地帯東部の山地は、おもに、中新世中期西黒沢期の酸性火山噴出物が分布している。

山形盆地周辺の山地は、おもに酸性火山噴出物から構成され、そのうち火山岩類は、骨材としてさかんに採石されている。また盆地西側寒河江以南の山地は、朝日山地東縁を経て米沢盆地西部山地より連続する泥岩の堆積ベーズンであって、泥岩が広く分布している。上部の泥岩は、米沢盆地の場合とおなじように、ベントナイト化した軽石凝灰岩あるいは細粒凝灰岩を多数はさみ、ベントナイトととし稼行されているほか、地すべりの素因となっている。また、西部山地東縁の左沢付近には、亜炭田が形成されている。

新庄盆地周辺の山地は、北部および東部には、下部中新統のプロピライト化した安山岩質火山噴出物が広く分布し、西部山地には、泥岩が広く分布している。西部山地東縁および新庄盆地地下(台地)には、夾炭層の砂岩、礫岩、泥岩互層などが広く分布している。しばしば細粒凝灰岩および軽石凝灰岩をともになっている。砂岩相は、米沢盆地のと同様近年けい砂として重視されている。

庄内平野東部の新庄盆地側より連続してくる山地は、泥岩および砂岩からなり、それらは、庄内平野平地下に埋没し、石油・天然ガスの母岩および貯留岩となっている。

平野南部の麻耶山地周辺の山地は、内陸部は、下部中新統の安山岩質火山噴出物から構成されているが、関川一温海川の凹部および海岸側には、石炭をともなる礫岩、砂岩、泥岩互層および礫岩、泥岩などが分布しており、しばしば玄武岩が貫入している。

また、山形～米沢盆地東部の山地には、直径10～20 kmのほぼ円形を呈する上部中新統の酸性火山噴出物が分布している。

これらの新第三系の岩相の分類については、本図の凡例を参照されたい。

かたさは、岩体・岩片共、夾炭層、軽石凝灰岩をともなる砂岩および凝灰質岩石が軟弱であるほかは

中程度であるが、火山岩はかたい場合が多い。しかし、火山岩で岩体のかたさと、岩片のかたさが一致しないのがあがるが、これは、柱状節理が発達し、岩体がほう弱なためである。

2.1.2 第四紀火山岩類からなる山地

第四紀の安山岩質火山噴出物から構成されており、一般に火山と呼ばれているものである。溶岩と火山砕屑物が互層をなしており、20万分の1の縮尺では分類不可能であるので安山岩質岩石（第四紀）として表現した。これらの山地の景観は、山形県の重要な観光資源となっていて、ほとんど国立公園あるいは国定公園に指定されている。骨材としては、一般に斑晶が大きく、粗しょうであるため不向である。

2.1.2 火山山麓

鳥海、月山、葉山、蔵王、白鷹、吾妻などの第四紀火山の終期の活動によって、山体の一部が崩落し、火山泥流となって火山山麓を形成している。火山泥流は、厳密な意味での火山噴出物ではないが、本図では、火山噴出物として表現してある。

2.1.3 洪積台地、段丘、沖積地

洪積台地は、礫岩と石英安山岩質火砕岩の互層からなっている新庄盆地内の台地、同互層および酸性溶結凝灰岩からなっている向町盆地内の台地、シラスからなる銅山川、角川流域の台地がおもなものである。一般に洪積期の酸性火山砕屑物から構成されている。

段丘は、洪積段丘と沖積段丘とに大別されるが、洪積段丘のみ礫、砂として表現した。新庄盆地および尾花沢盆地内によく発達し、上部は、ロームおよび降下軽石堆積物、黒ボクによりおおわれている。

沖積地は、庄内平野および各内陸盆地の低地砂丘および扇状地、沖積段丘などであり、低地は、礫、砂、泥から構成され、各所に砂が卓越する自然堤防、泥が卓越する軟弱地盤区域が分布している。自然堤防の砂は、砂丘と一括して示した。扇状地および沖積段丘を構成する堆積物は、礫として一括して示した。扇状地末端の低地は、最近の地下水の過剰揚水によって地盤沈下が生じる恐れがある。

その他、断層崖などに沿う崖錐堆積物が各所にみられる。

田宮良一（山形県商工労働部商工課）

3 土壌統群の分布とその性状および生産力可能性等の概要

山形県における山地・丘陵・台地・低地の土壌は、大土壌群で10、土壌統群で29に分類され、その内訳は次表のとおりである。

大土壌群	土 壌 統 群
岩 石 地	岩石地
岩 屑 土	高山岩屑性土壌 岩屑性土壌
未 熟 土	砂丘未熟土壌
黒 ボ ク 土	黒ボク土壌 多湿黒ボク土壌 淡色黒ボク土壌
褐色森林土	乾性褐色森林土壌 乾性褐色森林土壌（黄褐色系） 乾性褐色森林土壌（赤褐色系） 褐色森林土壌 褐色森林土壌（黄褐色系） 褐色森林土壌（赤褐色系） 褐色森林土壌（暗色系） 湿性褐色森林土壌
ポドソル土	乾性ポドソル土壌 湿性ポドソル土壌
赤 色 土	赤色土壌
黄 色 土	黄色土壌
褐色低地土	粗粒褐色低地土壌
灰色低地土	細粒灰色低地土壌 灰色低地土壌 粗粒灰色低地土壌
グ ラ イ 土	細粒グライ土壌 グライ土壌 粗粒グライ土壌
泥 炭 土	高位泥炭土壌 低位泥炭土壌 黒泥土壌

また、土壌統群の分布および、土壌統群と地形・地質・土地利用との関連を説明すれば次のとおりである。

3.1 山地の土壌

山形県の山地は、県東部の奥羽山地、中央部の出羽山地、西部の朝日・飯豊山地に大別される。

奥羽山地

未開折面の比較的広い翁峠山地・蔵王火山地・吾妻火山地では谷地は峡谷となり、谷壁には岩石地・岩屑未熟土壌がみられる。山麓緩斜面には淡色黒ボク土壌がみられ褐色森林土とともに吾妻火山地では800米、蔵王火山地では1000米附近まで分布する。

この山地の一般的な土壌の分布傾向は、地形的に乾きやすい凸部に乾性褐色森林土壌、乾性ポドソル土壌を介し、褐色森林土壌から湿性ポドソル土壌に推移するが、吾妻火山地では推移地帯に褐色森林土壌の暗色系が、吾妻火山地の標高1700米附近の平坦地に高位泥炭土壌、蔵王火山地の山頂部に高山岩屑性土壌が分布している。

開析された山地は一般に急斜面が多い。標高約800米以下では地形に対応して褐色森林土壌を主体に分布するが、乾性ポドソルは北部の神室山地では約400米から出現し、南部になるにつれて出現標高が高まり、豪士山・白布峠山地では700～800米になって出現する。標高800米以上は、地形急峻で、とくに神室、豪士、白布峠などの花崗岩地帯では浸食が激しく谷頭部は岩石地帯となり、その下部や谷壁には岩屑性未熟土壌が分布している。前記の標高以上の尾根には乾性ポドソルが分布するが、船形山地の一部に鉄型湿性ポドソルがみられる。

一般的にみて、開析山地の800米以上は人工更新の対象地は少なく、800米以下は褐色森林土壌を主体としており林地としての生産性は高く、とくに北部の低海拔山地は林業地としての立地条件が良好である。

出羽山地

日本海に近く、孤立峰である鳥海火山地は、内陸の火山地と地形、気象共に異なり、垂直的な土壌の分布状況も若干異なっている。山麓地では黒ボク土壌及び淡色黒ボク土壌が広く分布し、その上部に褐色森林土壌が出現する。高海拔地になると斜面方向によって土壌の分布状況を異にし、西～南西斜面では900米附近で乾性ポドソル土壌、1000米附近で湿性ポドソル土壌、1400米附近で高山性岩屑未熟土壌に推移するが、東斜面では乾性ポドソル土壌の発達が弱く、800米～1000米附近で褐色森林土壌から急に湿性ポドソル土壌に推移する傾向がある。鍋越峠附近には小面積の褐色森林土壌（暗色系）がみられる。

月山火山地では山頂に緩斜面を残し、湿性ポドソル土壌・高位泥炭土壌が出現しているが、東・西斜面では浸食が進み、急峻で谷地に岩石地がみられ、尾根地では乾性ポドソル土壌が、北、南斜面では標高1000米附近で褐色森林土壌から湿性ポドソル土壌に移行している。

月山、鳥海両火山地に含まれない出羽山地の約800米以上の地域は、浸食がすすみ、急峻で、谷地では、岩石地、岩屑性土壌がみられるが、中腹上部の緩斜地には乾性褐色森林土壌、尾根には乾性ポドソル土壌が主として分布するが、標高800米以下の地域丁岳山地は、谷頭部の急斜地に岩屑性未熟土壌が出現するが、大略地形に対応して各種の褐色森林土壌が分布する。最上川以北の脊梁部の500～700米附近に乾・湿性ポドソル土壌が特徴的に分布している。

白鷹山地の山麓部・新庄盆地周辺からつづく葉山山地の低海拔地域には、黒ボク土壌・淡色黒ボク土壌、白鷹火山地の中腹には、地形に対応して赤褐色の乾性褐色森林土壌と褐色森林土壌、南縁部の洪積台地には赤色土壌が分布している。

葉山山地南西、および西村山地方東縁部の残積地には、乾性褐色森林土壌の赤・黄褐色が局部的に分布している。

当地域、とくに月山火山地は豪雪地帯で人工林にはみるべきものはなく、ブナを主とする広葉樹林で占められているが、低海拔地では優良なスギ人工造林地もみられる。白鷹山地等の赤色土、褐色森林土壌（赤・黄褐色）の地域では、天然のアカマツが優勢な地域もみられるが、一般的に生産力は中庸な地域といえよう。

朝日叡雪山地は、摩耶山地、宇津峠付近を除き地形急峻で、花崗岩地域の朝日山地では標高800米以上、叡雪山地では600～800米以上、摩耶山地では500米以上が特に急峻で浸食斜面が多く、岩石地、岩屑土壌が多く、鈍頂尾根地には、湿性ポドソル土壌（鉄型）もみられるが、尖鋭尾根地には乾

性ポドソル土壌が分布している。

この地域は地形的に特徴をもち、稜線より東斜面が西斜面に比して急峻で岩石地も広く出現する傾向がある。宇津峠山地、摩耶山地西方と花崗岩を母材とする低海拔地では、緩斜～平坦地には炭色黒ボク土壌が局部的に出現しているが、他は地形の形状によって各種の森林土壌が分布し、そのパターンはやや細かである。摩耶山地、小国盆地北側周辺の丘陵性山地の一部には、乾性褐色森林土壌(赤褐系)が尾根地などの残積地に出現し、庄内平野南部に接する丘陵性山地には、赤色土もみられる。

朝日飯豊山地は、月山火山地と同様、豪雪地帯で、人工林は発達していない。摩耶山地西方、宇津峠山地にはスギの優良造林地もみられるが、総合的に林地としての生産力は県内で最も劣り、とくに花崗岩地帯の大半は、将来とも経済林としての対象外とみるべきであろう。

3.2 丘陵、台地の土壌

丘陵、台地は各盆地および平野の縁辺に発達し、傾斜は全般的に緩やかで、起伏が小さく、新期の火山灰を母材にした黒ボク土壌、炭色黒ボク土壌が主に分布している。しかし玉庭丘陵・新庄盆地周辺、庄内平野縁辺の丘陵地では、浸食された尾根などの凸部には、風化をうけた赤・黄色土壌、あるいは、これらを母材とした褐色森林土壌(赤・黄褐系)が分布する。

林地としての生産力は、褐色森林土壌(赤・黄褐系)赤色土壌のスギ人工林の成育は極端に悪く、天然のアカマツ、コナラ林などが多い。また黒ボク土壌、炭色黒ボク土壌におけるスギ人工林の成育は、新庄盆地北部、肘折周辺の山脚傾斜面では比較的良好であるが、他の地域では、良好とはいえない。しかし山地地域に比較して立地的にも気候的にも優位にあるので、今後人為的補正を加え生産力を高める方法を考えるべきであろう。

3.3 低地の土壌

山形県における低地は庄内地域の庄内平野、最北地域の新庄盆地、向町盆地、尾花沢盆地と村山地域の山形、上山盆地、及び置賜地域の米沢、長井盆地と小国盆地の四地域に大別され、それぞれ特徴を持っている。

庄内平野は本県最大の低地であり、日本海に面し、中央を最上川が日本海に貫流し、北部地域は、日光川、月光川が流れ、南部地域は赤川がそれぞれ日本海に流れており、又日本海の海岸沿には砂丘地がある、低地土壌のほとんどが、これ等河川による沖積土壌であり、細粒グライ土壌が主体をなし、それぞれの河川流域には灰色低地土壌、粗粒グライ土壌、および黄色土壌が分布し、砂丘地に接した部位には低位泥炭土壌が点在している。生産力は高い。

最北地域は、新庄盆地、向町盆地、尾花沢盆地よりなり、それぞれ火山抛出物の台地、丘陵地の間に入り組んで、その間を流れる小河川の流域に分布する狭長な低地で火山抛出物を母材とし、土壌は多湿黒ボク土壌、黒ボク土壌が主で河川流域に細粒グライ土壌、粗粒褐色低地土壌が点在する。生産力は気候的にも不良で劣る。

村山地域の山形、上山盆地は奥羽山地と出羽山地の間に広がる低地で、最上川にそそぐ小河川による沖積土壌が主で、小河川の扇状地は粗粒灰色低地土壌、灰色低地土壌から成り、果樹園としての利用が多く、低地の中央部は細粒グライ土壌であり、生産力は本県においても最も高い。

置賜地域は米沢、長井盆地は奥羽山地、朝日飯豊山地、出羽山地の三つに囲まれた低地と朝日飯豊山地の間に入り組んでいる小国盆地の低地から成り、米沢、長井盆地は最上川の源流である松川と最上川にそそぐ白川等による河川の沖積土壌で河川の流域は粗粒灰色低地土壌、灰色低地土壌、細粒灰色低地土壌、が分布し盆地の中央部は殆んど細粒グライ土壌となり、盆地の東北部の奥羽山地に接する部位に低位泥炭土壌がある。なお小国盆地は朝日飯豊山地に入り組んでいる狭長の低地でほとんどが粗粒グライ土壌が分布している。一般的には、生産力は高い。

以上の低地に見られる各土壌の生産力は、地域ごとにく分かの相違が見られるが、泥炭土壌は、グ

ライ土壌や灰色低地土より低く、粗粒のものはその他の土壌より生産力は一段低位である。更に地域的に見ると村山地域が一番生産力が高く、ついで置賜地域、庄内地域で最北地域は最も低位である。

横尾庫松（山形県林業指導所）

吉田昭（山形県農業試験場）

高畑幹穂（秋田管林局）

4 土地利用可能性分級等の概要

4.1 土地利用現況等の概要

総説

山形県における土地利用現況は、地形、地質、土壌の性状、気候条件などの自然要因、ならびに社会経済の発展にともなう人為的開発により特徴ある分布パターンを示している。

山形県は本州北東部で裏日本（東経 $139^{\circ}32'$ ～ $140^{\circ}38'$ 、北緯 $37^{\circ}44'$ ～ $39^{\circ}06'$ ）に位置し、気候的には、裏日本、雪国気候区に属し、冬季の季節風は県内の山間地帯に多量の降雪をもたらす、多雪地帯として特徴づけられる。

本県は東部には奥羽地方の脊梁をなす奥羽山脈が走り、中央部の出羽丘陵とこれにつづく越後山脈は県を庄内、内陸に二分している。奥羽山脈と出羽丘陵・越後山脈の間には、置賜、村山、最上の各盆地をはさみ、中央部を最上川が貫流し、日本海にそそいでいる。最上川の支流は一般に短かく急斜のため、各盆地には扇状地をつくり、最上川河口に近い庄内平野には三角州性低地をつくっている。日本海に面する海岸線約80 kmのうち、北半は砂丘地であり、南半は摩耶山地が海岸にせまり急峻となっている。

庄内平野は一方を砂丘をへだてて日本海に、他方を出羽山地からつづく丘陵地・山麓地に囲まれた三角州性低地で県内随一の穀倉地帯で、周辺の丘陵地は果樹、とくに柿の生産と人工針葉樹林の造成が盛んである。日本海沿岸北部の酒田は臨海工業地としての開発も進展し、また、港としての機能も充実しつつあり、近傍一帯は変貌し、土地利用の状況も年々推移しつつある。

内陸地方の周囲は起伏量の大きい山地、火山地で、小起伏山地・丘陵・段丘・台地を介在し盆地に含まれる低地へと達している。低地は水田として利用されており、とくに村山盆地は庄内平野に次ぐ穀倉地帯で、庄内・置賜とともに多収量地帯でもある。周囲の丘陵・段丘・台地は、林業、果樹栽培、特用作物栽培、桑園、草地などに利用されているが、とくに、果樹栽培は盛んで、本県に発達した、かん詰工業と相まって落葉果樹の生産量は各樹種とも全国上位にランクされており、果樹園地は村山盆地縁辺部に多く分布する。盆地周辺の丘陵地における林地は外帯の山地と共に、低質広葉樹林や不優位天然林の林種転換がすすめられ、人工針葉樹林化によって生産性の向上がはかられている。

県中央に位置し、山形県の産業、経済、文化、政治の中心地として発達した山形市は、工場の団地化が進み、更に周辺の畑地、水田は宅地転用が進められ、市街地へと開発利用されつつある。

各説

4.1.1 庄内地域

庄内地域は、平野部、鳥海山麓地、飽海丘陵、羽黒丘陵、月山山麓丘陵・台地、出羽山地、砂丘地などが含まれる。平野部には細粒ライ土壌を主とし、低位泥炭土壌、細粒灰色低地土壌が分布し、その殆んどが水田として利用され米穀倉地帯となっている。臨海地域に分布する幅100～200 mの砂丘未熟土壌地帯は、古くからの飛砂防備林造成によってクロマツ林となり、その中に介在する畑地ではメロンなどの栽培が盛んである。鳥海山麓地・飽海丘陵地には、黒ボク土壌、淡色黒ボク土壌が広く分布し、一部に褐色森林土壌（赤褐系）が分布している。この地域は人工針葉樹林が非常に多く県内でも林地

に対する人工林率は第一位であり、その構成する樹種は、スギ、カラマツ、アカマツであるが、その生産性は中位である。羽黒丘陵では果樹園が多い。果樹は柿が主で庄内柿として名が知られている。また月山山麓丘陵・台地では最近、国営、県営による大規模の草地造成がおこなわれ開発がすすめられている。この地域の人工針葉樹林は殆んどスギで生産性は中位である。出羽山地のうち鳥海火山地の標高の低い地域には褐色森林土壌が分布しスギ、ブナ林となっているが標高が高くなるにつれて、乾性ポドソル土壌、湿性ポドソル土壌、高山岩屑性土壌、岩石地と推移し、植生も、ブナ林、ミヤマナラ林、高山低木群落、高山草木群落に推移している。出羽山地の弁慶山山地では標高の高い尾根部に乾性ポドソル土壌が出現するほか殆んどが褐色森林土壌で、標高約500 m以下の地域でスギ・ブナ林、それより高海拔地域ではブナ林が主となっている。

4. 1. 2 村山地域

村山地域は、中央部の山形・上山盆地、奥羽山地、山形西方丘陵とに区分される。山形・上山盆地は灰色低地土壌、細粒グライ土壌からなる扇状地性低地と、黒ボク土壌からなる砂礫台地下位面とに区分される。扇状地性低地は庄内平野につく穀倉地帯で生産性も非常に高い。また、砂礫台地は、リンゴ、サクランボ、ブドウ等の果樹園となりその生産量も多いが、山形市から南方の上山市、北方の天童市にかけての一带は住宅地化、工場地化への変貌が甚しい。

奥羽山地は、黒ボク土壌～淡色黒ボク土壌からなる蔵王火山山麓地と、乾性褐色森林土壌が多く出現する小起伏山地・褐色森林土壌からなる中起伏山地、蔵王から面白山附近にかけての大起伏火山地・山地とに区分される。盆地周辺の小起伏山地の植生は、コナラ、クリ林が多く、アカマツ、落葉広葉樹林も僅かであるが山形市の千歳山・風間附近、天童市の舞鶴山、東根市の関山街道附近、及び、日塔川流域などにみられる。また、中～大起伏山地の火山地では、400 m附近からミズナラ林、900 m附近からミズナラ・ブナ林、蔵王・船形山の1000 m附近からブナ林、蔵王山の1400 m附近からコメツガ・オオシラビソ林、蔵王、船形山の1600 m附近で高山低木群落に推移している。この地域の人工針葉樹林の大部分は小起伏山地から中起伏山地の河川のの上流地域に分布し、その標高は800 m前後である。しかし、蔵王山では、その標高を越え1200 m附近まで人工針葉樹林の造成をおこなっている。蔵王山は蔵王ライン・エコーラインが完成されてから夏の観光、冬のスキーと観光地としての機能を発揮しまた、西蔵王高原は学園都市の計画もあり、ここ一帯は大きく変貌しようとしている。

山形西方丘陵は、寒河江川を界として南部は褐色森林土壌(赤褐色)が、北部は褐色森林土壌が主として分布するが、林地としての生産性は低い。寒河江市附近の丘陵縁辺には果樹園が広く分布し、サクランボ、モモ、リンゴ等の生産量が多く、近年、ブドウ園の造成もすすんできている。また、上山市・山形市近辺ではブドウ園の造成が盛んでその収量も多く、林地としてより人為的に造成した果樹園の生産性が高い。

4. 1. 3 最北地域

最北地域は内陸盆地・丘陵のうち新庄盆地、新庄周辺丘陵、肘折火山性台地、尾花沢盆地が、奥羽山地の神室・翁峠の山地及び向町盆地、出羽山地のうち丁岳・弁慶・御城森の各山地、及び、大高根山地、火山地が含まれる。

新庄盆地・尾花沢盆地・向町盆地における低地には、黒ボク土壌、多湿黒ボク土壌、細粒グライ土壌等が分布し、水田として利用されているが、向町盆地を除き、村山、萱賜、庄内地域に比較して生産性は低い。盆地とその周辺、及び、丘陵地の各地に畑地が分布するが、土壌は黒ボク土壌～淡色黒ボク土壌が多く、生産物も雑穀類が殆んどである。尾花沢盆地及び、その周縁部でスイカの栽培が盛んであり、また、僅かではあるがベニバナの栽培もみられる。新庄周辺丘陵の北部、及び、神室山地に含まれる金山町、真室川町地区は淡色黒ボク土壌～褐色森林土壌が殆んどで、古くからスギの栽培がおこなわれ、人工針葉樹林も多く、林地の生産性も高い。その他の丘陵地・山地とも人工林化をすすめているが、そ

の率は低く、とくに丘陵地の生産性は低く価値の低い落葉広葉樹林が多い。各山地の殆んどが褐色森林土で下部はスギの人工針葉樹林がつけられ、その上部はスギ、ブナ林、高海拔地域の高山岩屑土壌地帯はブナ林となっている。肘折火山性台地は軽石を主とした黒ボク土壌からなり、スギ林、ブナ林、コナラ、クリ林、草地等に利用されているが生産性は一般的に低い。また、大高根山地・火山地は、殆んどが黒ボク土壌で褐色森林土は僅かに分布するにすぎ人工針葉樹林も部落に近い位置に少面積分布するのみで、他の大部分はコナラ、クリを含む広葉樹林で生産性も低い。

4.1.4 置賜地域

置賜地域は、中央部の米沢盆地・長井盆地、玉庭丘陵とその外縁の山地・火山地とに区分される。米沢盆地・長井盆地の殆んどが扇状地性低地で、細粒グライ土壌からなるが、長井市附近の低地に粗粒・細粒灰色低地土壌及び灰色低地土壌がみられる。また、赤湯附近には三角州性低地がみられ、低位泥炭土壌からなり、前者とともに水田として生産性が高い。米沢盆地中央部の自然堤防は灰色低地土壌からなり、畑地として利用され、また、米沢市街地南部の黒ボク土壌地域も畑地として近時イチゴの栽培がおこなわれている。また、長井盆地北西部の砂礫台地の一部には桑園がみられ養蚕がおこなわれている。玉庭丘陵の大部分は褐色森林土壌の赤褐色系及び黄褐色系で、一部定位面に赤色土が分布しており、人工針葉樹林にはみるべきものはなく、殆んどが生産性の低い天然広葉樹林と僅かにアカマツが混交する天然広葉樹林であるが最近草地造成によって開発されつつある。

米沢盆地東縁の小起伏山地には褐色森林土壌、岩屑性土壌が分布し天然性アカマツと落葉広葉樹の混交林が広く分布する。スギを主とした人工針葉樹林は高島町二井宿附近に分布し、土壌も褐色森林土壌で生産性も比較的高い。米沢盆地北部、長井盆地東部の小起伏山地の西南縁部、国道13号線沿いに褐色森林土壌の赤褐色系土壌がみられ、天然性アカマツと落葉広葉樹との混交林が分布している。人工針葉樹林は吉野川流域の中腹凹地、山腹下部に点在し、生産性は中位である。また、赤湯、高島附近の小起伏山地下部に広大なドウ園が造成され、生産性の向上をはかりながら、観光果樹園としても脚光をあびている。米沢盆地南部の山地は、人工針葉樹林の造成がすすみ、松川、大樽川、鬼面川の流域にはその面積も多い。とくに鬼面川流域では標高約1100m附近まで人工針葉樹林化がすすんでいる。吾妻火山地ではミズナラ林型をとる地域が多く1700m附近でコメツガ・オオシラビソ林に推移している。この火山地ではブナ林は殆んどなく、ブナ・ミズナラ林型をとるものがコメツガ、オオシラビソ林の下部の一部に分布するのみで林地の生産性は低い。

長井市西部の朝日山地に属する地域は急斜地が多く、尾根筋にヒメコマツが点在し、布谷川附近を界としてミズナラ林型からブナ林型に推移しているが、優良なブナ林、ミズナラ林は戦後の伐採によって残っていない。

4.1.5 西部山間地域

西部山間地域には、飯豊山地、朝日山地、月山火山地、摩耶山地が含まれる。この地域の水田は谷底面に僅かに分布するのみである。山地は一般に急峻で、飯豊、朝日山地、月山火山地は積雪3~4mにもおよび豪雪地帯として知られ、その生産性も低い。飯豊・朝日山地に囲まれた小国盆地周辺の荒川流域、横川流域には人工針葉樹林が分布するが、小国町小倉、杉沢附近、越中里、今市附近の優良スギ林を除き、その生産性は中位である。月山火山地の山麓部一摩耶山地の田川地方、日本海沿岸の鼠ヶ関川温海川、五十川の上流地域はスギの優良材分が多く生産性は高いが、その他の林地は殆んどブナの天然林である。しかし、これも伐採されつつあり、優良な天然林は少なくなっている。飯豊山地は急斜地が多く雪崩地落葉広葉低木林が各地にみられ特徴的で、朝日、摩耶山地、月山火山地とともに常緑針葉樹林を欠いており、高海拔地域にはミヤマナラ、ミネカエデ、ナナカマド及び、ダケカンバを主とした亜高山落葉広葉樹林が分布する。月山の山頂緩斜面の一部に高位泥炭土壌がみられるが殆んど草生地で生産性は零といえる。

月山火山地、朝日山地に源を発する寒河江川中流域はスギを主とした人工針葉樹林も多いが、盆地に近い小起伏山地以外の生産性は低く、上流流域は山菜の豊庫で地域住民の大きな収入源となっている。

4.2 土地利用可能性分級等の概要

山形県における土地利用可能性分級等の概要をみるとⅠ類地は庄内平野および内陸盆地などの沖積平坦地に多く分布し、これらの多くは細粒グライがほとんど占め、ほとんどは水田として利用されている。Ⅱ類地は平野および盆地の沖積平坦地に分布し、水田および畑地として利用され、これらの多くは粗粒褐色低地土壌が大半を占めている。Ⅲ類地は主として最北地域等の平坦地の周辺丘陵地に分布し、緩傾斜水田、普通畑等を含み、さらに林地の一部を包含する多様化した土地利用をみせる地帯で、これらの土壌は水田が多湿黒ボク土壌、畑地が黒ボク土壌、林地が褐色森林土壌である。Ⅳ類地は畑地、林地等のうちⅢ類地の若干傾斜度の強い畑地および林地で、畑地は普通畑および草地がほとんどであり、林地は広葉樹林および一部針葉樹林として利用が多く、土壌は黒ボク土壌がほとんどである。Ⅴ類地は林地が大部分で針葉樹林としての利用が多い地帯であり、土壌は淡色黒ボク土壌および、褐色森林土壌よりなっている。Ⅵ類地は針葉樹林の地帯であり、Ⅶ類地は極端な急傾斜で西部山間地に多く林地としての利用価値の極めて低い地帯である。Ⅶ類地は河川敷と市街化区域で本県では山形市、米沢市、酒田市、鶴岡市、新庄市が該当する。以上のように土地利用可能性分級と、土地利用現況の関連からみて沖積地平野の水田はⅠ～Ⅲに、畑地の多くはⅡ～Ⅲ類地に、人工林の多くは針、広葉樹林ともⅣ～Ⅴ類地に分布が広い。

横 尾 庫 松（山形県林業指導所）

吉 田 昭（山形県農業試験場）

B. 統 計 の 部

1. 土地利用現況

1-1 土地利用現況別面積市町村別内訳

区 分 市 町 村	農 地								草 地					
	田			畑					農 地 計	利用草地			未(利 原用 草野 地)	草 地 計
	普 通 田	特 殊 田	計	普 通 畑	牧 草 畑	樹 園 地				永 年 牧 草 地	自 然 草 地	計		
						果 樹 園	桑 園 他	計						
山形市	58	—	58	13	0	7	5	12	83	0	—	0	6	6
米沢市	42	—	42	11	0	1	1	2	55	0	—	0	3	3
鶴岡市	68	—	68	6	0	1	0	1	75	0	—	0	1	1
酒田市	80	—	80	13	0	2	0	2	95	0	—	0	1	1
新庄市	41	—	41	6	0	0	0	0	47	0	—	0	0	0
寒河江市	26	—	26	4	0	8	0	8	38	0	—	0	1	1
上山市	17	—	17	5	0	2	5	7	29	0	—	0	5	5
村山市	29	—	29	7	0	2	9	11	47	0	—	0	1	1
長井市	30	—	30	3	0	1	2	3	36	0	—	0	1	1
天童市	23	—	23	6	0	14	2	16	45	0	—	0	3	3
東根市	17	—	17	10	0	10	2	12	39	0	—	0	2	2
尾花沢市	34	—	34	11	0	0	5	5	50	0	—	0	—	0
南陽市	24	—	24	6	0	5	2	7	37	1	—	1	1	2
計	489	—	489	101	0	53	33	86	676	1	—	1	25	26
東村山郡														
山辺町	7	—	7	2	0	2	2	4	13	0	—	0	1	1
中山町	8	—	8	1	0	2	1	3	12	0	—	0	0	0
計	15	—	15	3	0	4	3	7	25	0	—	0	1	1
西村山郡														
河北町	19	—	19	2	0	2	1	3	24	0	—	0	0	0
西川町	7	—	7	3	0	0	1	1	11	0	—	0	6	6
朝日町	9	—	9	3	0	4	3	7	19	0	—	0	1	1
大江町	8	—	8	3	0	2	1	3	14	0	—	0	0	0
計	43	—	43	11	0	8	6	14	68	0	—	0	7	7
北村山郡														
大石田町	14	—	14	4	0	0	1	1	19	0	—	0	1	1
計	14	—	14	4	0	0	1	1	19	0	—	0	1	1
最上郡														
金山町	13	—	13	2	0	0	0	0	15	0	—	0	6	6
最上町	19	—	19	2	0	0	0	0	21	0	—	0	6	6
舟形町	13	—	13	1	0	0	0	0	14	0	—	0	3	3
真室川町	17	—	17	2	0	0	0	0	19	0	—	0	6	6
大蔵村	7	—	7	2	0	—	0	0	9	0	—	0	0	0
鮭川村	14	—	14	2	0	0	0	0	16	0	—	0	1	1
戸沢村	11	—	11	2	0	0	0	0	13	0	—	0	2	2
計	94	—	94	13	0	0	0	0	107	0	—	0	24	24

(単位 Km²)

林						地					宅地	公共用地その他	合計
人工林			天然林			未立木地			除地	林地			
針葉樹	広葉樹	計	針葉樹	広葉樹	計	採算放牧に利用している土地	その他	計					
38	0	38	8	164	172	1	2	3	—	213	15	65	382
57	0	57	34	324	358	6	8	14	—	429	9	53	549
47	0	47	1	41	42	5	6	11	—	100	9	50	235
15	—	15	3	4	7	—	4	4	—	26	10	42	174
29	0	29	1	89	90	5	0	5	—	124	3	50	224
15	0	15	6	49	55	—	—	—	—	70	4	28	141
37	0	37	5	119	124	0	1	1	—	162	4	41	241
28	0	28	8	72	80	1	1	2	—	110	3	35	196
15	—	15	5	119	124	1	0	1	—	140	4	34	215
11	0	11	2	26	28	0	1	1	—	40	6	19	113
16	0	16	6	108	114	1	2	3	—	133	4	28	206
50	0	50	2	200	202	1	5	6	—	258	2	65	375
29	0	29	8	60	68	2	1	3	—	100	4	17	160
387	0	387	89	1,375	1,464	23	31	54	—	1,905	77	527	3,211
11	0	11	1	20	21	1	0	1	—	33	2	12	61
2	—	2	2	6	8	0	0	0	—	10	1	9	32
13	0	13	3	26	29	1	0	1	—	43	3	21	93
4	0	4	3	7	10	0	0	0	—	14	2	11	51
48	0	48	1	270	271	5	3	8	—	327	1	49	394
18	0	18	3	127	130	—	3	3	—	151	1	25	197
22	0	22	2	88	90	0	0	0	—	112	1	26	153
92	0	92	9	492	501	5	6	11	—	604	5	111	795
11	0	11	0	28	28	1	2	3	—	42	1	15	78
11	0	11	0	28	28	1	2	3	—	42	1	15	78
37	0	37	2	82	84	2	1	3	—	124	1	15	161
62	0	62	0	191	191	1	2	3	—	256	1	46	330
21	0	21	0	55	55	1	1	2	—	78	1	24	120
85	1	86	4	225	229	2	1	3	—	318	1	30	374
14	0	14	0	97	97	4	1	5	—	116	0	87	212
32	0	32	0	47	47	1	0	1	—	80	1	24	122
48	0	48	0	163	163	3	0	3	—	214	1	32	262
299	1	300	6	860	866	14	6	20	—	1,186	6	258	1,581

区 市 町 村	農 地								草 地					
	田			畑					農 地 計	利用草地			未 利 用 草 地	草 地 計
	普 通 田	特 殊 田	計	普 通 畑	牧 草 畑	樹 園 地				永 年 牧 草 地	自 然 草 地	計		
						果 樹 園	桑 の 園 他	計						
東置賜郡														
高島町	32	—	32	6	0	5	1	6	44	0	—	0	1	1
川西町	45	—	45	4	0	0	1	1	50	0	—	0	0	0
計	77	—	77	10	0	5	2	7	94	0	—	0	1	1
西置賜郡		—												
小国町	12	—	12	2	0	0	—	0	14	1	—	1	3	4
白鷹町	14	—	14	5	0	1	7	8	27	0	—	0	0	0
飯豊町	20	—	20	2	0	0	0	0	22	1	—	1	6	7
計	46	—	46	9	0	1	7	8	63	2	—	2	9	11
東田川郡		—												
立川町	16	—	16	1	0	0	0	0	17	0	—	0	6	6
余目町	41	—	41	1	0	0	—	0	42	0	—	0	—	0
藤島町	37	—	37	3	0	0	0	0	40	0	—	0	—	0
羽黒町	27	—	27	4	0	1	0	1	32	0	—	0	0	0
榎引町	18	—	18	2	0	1	0	1	21	0	—	0	0	0
三川町	25	—	25	1	0	0	0	0	26	0	—	0	—	0
朝日村	10	—	10	1	0	1	0	1	12	0	—	0	2	2
計	174	—	174	13	0	3	0	3	190	0	—	0	8	8
西田川郡		—												
温海町	8	—	8	1	0	0	1	1	10	0	—	0	0	0
計	8	—	8	1	0	0	1	1	10	0	—	0	0	0
飽海郡		—												
遊佐町	31	—	31	7	0	2	0	2	40	0	—	0	2	2
八幡町	13	—	13	1	0	0	0	0	14	1	—	1	1	2
松山町	10	—	10	1	0	0	0	0	11	0	—	0	0	0
平田町	13	—	13	2	0	0	0	0	15	0	—	0	0	0
計	67	—	67	11	0	2	0	2	80	1	—	1	3	4
合計	1,029	—	1,029	166	5	77	55	132	1,332	7	—	7	79	86

(単位 Km²)

林						地				宅地	公共用地その他	合計	
人工林			天然林			未立木他			除地				林地計
針葉樹	広葉樹	計	針葉樹	広葉樹	計	採草放牧に利用している土地	その他	計					
27	0	27	8	61	69	1	3	4	—	100	3	33	181
8	—	8	12	60	72	1	2	3	—	83	4	31	168
35	0	35	20	121	141	2	5	7	—	183	7	64	349
45	0	45	0	606	606	3	29	32	—	683	1	37	739
36	—	36	0	65	65	1	1	2	—	103	2	25	157
26	0	26	8	218	226	17	15	32	—	284	2	14	329
107	0	107	8	889	897	21	45	66	—	1,070	5	76	1,225
23	0	23	1	107	108	1	5	6	—	137	1	31	192
—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	3	14	59
3	—	3	0	5	5	0	1	1	—	9	2	12	63
16	—	16	1	26	27	0	1	1	—	44	2	30	108
11	0	11	0	29	29	0	0	0	—	40	1	19	81
—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	1	6	33
37	2	39	1	460	461	8	6	14	—	514	1	38	567
90	2	92	3	627	630	9	13	22	—	744	11	150	1,103
75	0	75	0	138	138	11	1	2	—	225	1	19	255
75	0	75	0	138	138	11	1	2	—	225	1	19	255
43	0	43	1	58	59	—	2	2	—	104	3	60	209
46	0	46	0	96	96	—	6	6	—	148	1	39	204
11	0	11	1	6	7	—	4	4	—	22	1	9	43
39	0	39	0	95	95	—	16	16	—	150	1	13	179
139	0	139	2	255	257	—	28	28	—	424	6	121	635
1,242	7	1,249	140	4,808	4,948	86	137	223	—	6,420	109	1,378	9,325

1-2 D. I. D おおむね10万人以上の都市の土地利用現況の内訳

(単位 km²)

区 分 市	市街地の内訳									市街地外の内訳						合 計	
	商 業 区	工業区			住 宅 区	そ の 他				市 街 地 計	農 地	草 地	林 地	宅 地	公 共 の 地 他		そ の 計
		重 工 業 地	軽 工 業 地	計		漁 業 区	運 輸 区	公 共 区	計								
山形市	1	0	1	1	10	—	0	3	3	15	83	—	213	5	66	367	382
合 計	1	0	1	1	10	—	0	3	3	15	83		213	5	66	367	382

2 自然的土地条件

2-1 傾斜区分別面積市町村別内訳

(単位 km²)

傾斜区分 市町村	0°~3°	3°~8°	8°~15°	15°~20°	20°~30°	30°~40°	40°~	合計	備考
山形市	135	17	56	29	62	83	—	382	
米沢市	135	8	44	93	110	155	4	549	
鶴岡市	107	6	26	54	35	7	—	235	
酒田市	147	14	9	4	—	—	—	174	
新庄市	86	20	33	26	26	29	4	224	
寒河江市	46	3	28	29	21	14	—	141	
上山市	45	17	44	38	57	40	—	241	
村山市	67	8	19	41	34	27	—	196	
長井市	57	7	18	26	23	83	1	215	
天童市	71	6	7	11	9	9	—	113	
東根市	73	1	13	23	30	63	3	206	
尾花沢市	85	18	53	66	86	67	—	375	
南陽市	49	5	49	31	26	—	—	160	
計	1,103	130	399	471	519	577	12	3,211	
東村山郡									
山辺町	11	5	16	25	4	—	—	61	
中山町	17	—	4	10	1	—	—	32	
計	28	5	20	35	5	—	—	93	
西村山郡									
河北町	32	1	7	11	—	—	—	51	
西川町	18	6	59	82	101	120	8	394	
朝日町	17	11	27	59	32	48	3	197	
大江町	15	1	24	52	41	20	—	153	
計	82	19	117	204	174	188	11	795	
北村山郡									
大石田町	30	1	13	22	12	—	—	78	
計	30	1	13	22	12	—	—	78	
最上郡									
金山町	31	2	9	34	54	30	1	161	
最上町	39	4	41	60	94	90	2	330	
舟形町	20	19	20	26	25	10	—	120	
真室川町	34	20	53	105	111	41	10	374	
大蔵村	13	32	34	55	47	31	—	212	
畦川村	21	15	36	31	16	3	—	122	
戸沢村	27	12	52	78	55	38	—	262	
計	185	104	245	389	402	243	13	1,581	

(単位 Km²)

市町村	傾斜区分	0°~3°	3°~8°	8°~15°	15°~20°	20°~30°	30°~40°	40°~	合計	備考
東置賜郡										
高島町		79	0	7	16	48	31	—	181	
川西町		85	10	54	15	4	—	—	168	
計		164	10	1	31	52	31	—	349	
西置賜郡										
小国町		46	9	67	132	165	251	69	739	
白鷹町		32	11	25	40	31	18	—	157	
飯豊町		46	11	30	90	67	82	3	329	
計		124	31	122	262	263	351	72	1,225	
東田川郡										
立川町		29	12	38	41	40	28	4	192	
余目町		59	—	—	—	—	—	—	59	
藤島町		52	0	3	4	4	—	—	63	
羽黒町		49	32	3	10	8	4	2	108	
榎引町		31	13	14	10	11	2	—	81	
三川町		33	—	—	—	—	—	—	33	
朝日村		17	7	53	78	151	233	28	567	
計		270	64	111	143	214	267	34	1,103	
西田川郡										
温海町		25	4	28	33	68	97	—	255	
計		25	4	28	33	68	97	—	255	
飽海郡										
遊佐町		52	57	27	41	20	9	3	209	
八幡町		19	6	37	63	60	18	1	204	
松山町		19	4	12	5	2	1	—	43	
平田町		22	3	26	47	50	27	4	179	
計		112	70	102	156	132	55	8	635	
合計		2,123	438	1,218	1,746	1,841	1,809	150	9,325	

2-2 標高区分別面積市町村別内訳

(単位 Km²)

市町村	標高区分								合計	備考
	0 m ~ ~100m	100m~ 200m	200m~ 400m	400m~ 600m	600m~ 800m	800m~ 1,000m	1,000m~ 1,500m	1,500m~		
山形市	17	104	72	67	46	32	41	3	382	
米沢市	—	—	151	113	110	71	81	23	549	
鶴岡市	143	45	35	10	2	—	—	—	235	
酒田市	166	7	1	—	—	—	—	—	174	
新庄市	31	96	34	22	16	17	8	—	224	
寒河江市	18	37	38	16	17	9	6	—	141	
上山市	—	18	72	72	35	22	18	4	241	
村山市	36	49	50	33	13	7	8	—	196	
長井市	—	13	73	37	31	37	24	0	215	
天童市	27	42	19	16	9	0	0	—	113	
東根市	27	31	36	40	39	22	11	—	206	
尾花沢市	27	80	105	83	41	21	18	—	375	
南陽市	—	—	74	60	26	—	—	—	160	
計	492	522	760	569	385	238	215	30	3,211	
東村山郡										
山辺町	3	8	25	17	8	—	—	—	61	
中山町	15	5	12	—	—	—	—	—	32	
計	18	13	37	17	8	—	—	—	93	
西村山郡										
河北町	29	8	13	1	—	—	—	—	51	
西川町	—	6	54	82	84	87	74	7	394	
朝日町	—	21	53	42	29	19	31	2	197	
大江町	—	21	55	34	25	12	6	0	153	
計	29	56	175	159	138	118	111	9	795	
北村山郡										
大石田町	32	20	18	7	1	0	—	—	78	
計	32	20	18	7	1	0	—	—	78	
最上郡										
金山町	—	34	60	38	16	11	2	—	161	
最上町	—	—	133	93	58	36	10	—	330	
舟形町	21	46	33	14	6	0	—	—	120	
真室川町	11	95	116	91	52	9	—	—	374	
大蔵村	13	22	38	38	39	30	32	0	212	
鮭川村	18	75	17	9	3	—	—	—	122	
戸沢村	34	58	95	54	15	6	—	—	262	
計	97	330	492	337	189	92	44	0	1,581	

(単位 Km²)

市町村	標高区分									合計	備考
	0m ~ 100m	100m ~ 200m	200m ~ 400m	400m ~ 600m	600m ~ 800m	800m ~ 1,000m	1,000m ~ 1,500m	1,500m ~			
東置賜郡											
高畠町	—	—	107	50	20	4	—	—	—	181	
川西町	—	—	139	27	2	—	—	—	—	168	
計	—	—	246	77	22	4	—	—	—	349	
西置賜郡											
小国町	—	—	247	230	108	67	63	24	—	739	
白鷹町	—	20	59	41	25	7	5	—	—	157	
飯豊町	—	—	83	113	63	38	30	2	—	329	
計	—	20	389	384	196	112	98	26	—	1,225	
東田川郡											
立川町	25	28	31	22	24	23	31	8	—	192	
余目町	59	—	—	—	—	—	—	—	—	59	
藤島町	52	6	5	—	—	—	—	—	—	63	
羽黒町	35	13	36	4	6	4	6	4	—	108	
楡引町	29	7	23	11	7	2	2	—	—	81	
三川町	33	—	—	—	—	—	—	—	—	33	
朝日村	7	22	92	121	118	95	108	4	—	567	
計	240	76	187	158	155	124	147	16	—	1,103	
西田川郡											
温海町	6	37	132	63	14	3	—	—	—	255	
計	6	37	132	63	14	3	—	—	—	255	
飽海郡											
遊佐町	75	29	29	20	10	6	23	17	—	209	
八幡町	24	21	51	60	30	11	7	0	—	204	
松山町	21	14	7	1	—	—	—	—	—	43	
平田町	32	37	52	47	11	—	—	—	—	179	
計	152	101	139	128	51	17	30	17	—	635	
合計	1,066	1,175	2,575	1,899	1,159	708	645	98	—	9,325	

2-3 地形区分別面積市町村別内訳

地 形 区 分 市 町 村	山 地 ・ 火 山 地					丘 陵 地		
	大起伏	中起伏	小起伏	山麓地	計	大起伏	小起伏	計
山形市	88	46	66	51	251	—	4	4
米沢市	69	207	115	17	408	31	—	31
鶴岡市	—	32	83	3	118	—	—	—
酒田市	—	—	—	2	2	2	9	11
新庄市	45	24	15	—	84	15	13	28
寒河江市	8	36	12	7	63	20	—	20
上山市	14	75	89	25	203	—	0	0
村山市	24	30	49	14	117	1	8	9
長井市	68	31	42	4	145	5	1	6
天童市	1	23	15	0	39	3	1	4
東根市	28	75	31	6	140	1	1	2
尾花沢市	5	122	91	—	218	55	22	77
南陽市	1	15	95	1	112	—	—	—
計	351	716	703	130	1,900	133	59	192
東村山郡								
山辺町	4	—	14	13	31	19	—	19
中山町	—	—	—	—	—	16	—	16
計	4	—	14	13	31	35	—	35
西村山郡								
河北町	—	1	4	5	10	7	—	7
西川町	97	171	89	18	375	1	—	1
朝日町	61	51	10	14	136	32	7	39
大江町	9	36	65	—	110	24	—	24
計	167	259	168	37	630	64	7	71
北村山郡								
大石田町	0	2	32	11	45	2	—	2
計	0	2	32	11	45	2	—	2
最上郡								
金山町	23	23	70	—	116	12	—	12
最上町	81	87	13	8	189	26	22	48
舟形町	1	17	50	4	72	8	8	16
真室川町	60	101	92	—	253	74	—	74
大蔵村	28	87	34	3	152	10	3	13
鮭川村	—	21	—	—	21	47	—	47
戸沢村	9	96	77	9	191	28	—	28
計	202	432	336	24	994	205	33	238

(単位 Km²)

台地・段丘				低地				合計	備考
砂	ローム	岩石	計	扇状地性	三角州性	自然堤防州砂	計		
7	—	—	7	108	0	12	120	382	
43	—	—	43	64	—	3	67	549	
2	—	—	2	35	67	13	115	235	
3	—	—	3	—	100	58	158	174	
76	—	—	76	36	—	—	36	224	
23	—	—	23	32	—	3	35	141	
14	—	—	14	24	—	—	24	241	
41	—	—	41	28	—	1	29	196	
26	—	—	26	37	1	—	38	215	
17	—	—	17	48	2	3	53	113	
27	—	—	27	35	—	2	37	206	
48	—	—	48	32	—	—	32	375	
9	—	—	9	28	7	4	39	160	
336	—	—	336	507	177	99	783	3,211	
—	—	—	—	9	1	1	11	61	
—	—	—	—	11	—	5	16	32	
—	—	—	—	20	1	6	27	93	
4	—	—	4	28	—	2	30	51	
9	—	—	9	9	—	—	9	394	
17	—	—	17	5	—	—	5	197	
18	—	—	18	1	—	—	1	153	
48	—	—	48	43	—	2	45	795	
17	—	—	17	14	—	—	14	78	
17	—	—	17	14	—	—	14	78	
21	—	—	21	12	—	—	12	161	
43	21	—	64	29	—	—	29	330	
22	0	—	22	10	—	—	10	120	
26	—	—	26	21	—	—	21	374	
7	31	—	38	9	—	—	9	212	
35	—	—	35	19	—	—	19	122	
7	15	—	22	21	—	—	21	262	
161	67	—	228	121	—	—	121	1,581	

地形区分 市町村	山 地 ・ 火 山 地					丘 陵 地		
	大起伏	中起伏	小起伏	山麓地	計	大起伏	小起伏	計
東置賜郡								
高島町	2	35	78	—	115	—	—	—
川西町	—	5	7	—	12	74	4	78
計	2	40	85	—	127	74	4	78
西置賜郡								
小国町	189	246	216	—	651	34	—	34
白鷹町	16	33	64	14	127	—	—	—
飯豊町	62	115	74	—	251	33	3	36
計	267	394	354	14	1,029	67	3	70
東田川郡								
立川町	53	78	5	4	140	22	—	22
余目町	—	—	—	—	—	—	—	—
藤島町	—	—	5	2	7	6	—	6
羽黒町	10	—	3	49	62	—	—	—
榎引町	1	4	6	38	49	—	—	—
三川町	—	—	—	—	—	—	—	—
朝日村	189	260	55	47	551	—	—	—
計	253	342	74	140	809	28	—	28
西田川郡								
温海町	18	155	63	—	236	—	—	—
計	18	155	63	—	236	—	—	—
飽海郡								
遊佐町	46	33	14	42	135	—	4	4
八幡町	17	87	4	44	152	9	15	24
松山町	—	2	—	—	2	15	5	20
平田町	2	91	—	—	93	52	10	62
計	65	213	18	86	382	76	34	110
合 計	1,329	2,553	1,847	455	6,184	684	140	824

(單位 km²)

台地・段丘				低地				合計	備考
砂	ローム	岩石	計	扇状地性	三角州性	自然堤防砂	計		
7	—	—	7	47	8	4	59	181	
4	—	—	4	71	—	3	74	168	
11	—	—	11	118	8	7	133	349	
27	3	—	30	24	—	—	24	739	
16	—	—	16	14	—	—	14	157	
29	—	—	29	13	—	—	13	329	
72	3	—	75	51	—	—	51	1,225	
5	—	—	5	12	8	5	25	192	
—	—	—	—	—	51	8	59	59	
1	—	—	1	8	37	4	49	63	
5	17	—	22	20	3	1	24	108	
3	5	—	8	24	—	—	24	81	
—	—	—	—	—	26	7	33	33	
4	—	—	4	12	—	—	12	67	
18	22	—	40	76	125	25	226	1,103	
—	—	—	—	18	1	—	19	255	
—	—	—	—	18	1	—	19	255	
6	—	—	6	15	31	18	64	209	
2	—	—	2	18	8	—	26	204	
5	—	—	5	7	3	6	16	43	
—	—	—	—	14	9	1	24	179	
13	—	—	13	54	51	25	130	635	
676	92	—	768	1,022	363	164	1,549	9,325	

2-4 表層地質分布面積市町村別内訳

市町村		未 固 結 堆 積 物							計
		砂	礫	礫・砂・泥	泥(含泥炭)	碎屑物	礫・砂	礫~礫岩	
山形市	14	8	96			7			155
米沢市	2	40	40		4	5			91
鶴岡市	10	24	69	22		2			127
酒田市	58		100						158
新庄市		68	31	1	2			21	123
寒川市	4	19	18			16			57
上山市		18	15			6			39
長井市		6	26			31			63
天童市	2	27	23	1	11	8	4		74
尾花市	1	36	31	1		3			73
南阳市	2	30	33		2	8			74
尾花市	2	22	14			43	1		80
南阳市	2	9	33	8					52
南阳市計	93	337	529	33	19	129	5	21	1,166
山形町	1		13	1					15
中東村	3		13						16
山形郡計	4		26	1					31
河西町	1	1	35			3			40
朝日町		8				3			11
大江町		6				13			19
大西村	1	9				1			10
山形郡計	1	24	35			20			80
大北村		4	17			10			31
山形郡計		4	17			10			31
金最町		7				16		9	32
最上町		35				14		29	78
舟室川村		20				6	3	2	31
真蔵川村		8	7			4		2	14
大鹿村		3	13			4			14
戸沢村		4	20			4		14	34
最上郡計		80	40			4	3	56	28
高川町	4	16	44	7					71
東置賜郡計	3	4	67			4	63		141
高川町	7	20	111	7		4	63		212
小白飯町		31				3			34
西置賜郡計	13	5	30			5			30
立余藤羽衛三朝東田	13	36	43			8			36
立余藤羽衛三朝東田	5	8	12			5			30
立余藤羽衛三朝東田	8		51						59
立余藤羽衛三朝東田	4	8	37			1			50
立余藤羽衛三朝東田	1	19	4			4			28
立余藤羽衛三朝東田	7	23							23
立余藤羽衛三朝東田	7	26							33
立余藤羽衛三朝東田	25	13							13
立余藤羽衛三朝東田計	25	97	104			10			236
温西田町		5							5
温西田町計		5							5
遊八松平鮑海郡計	18	15	31			6			70
遊八松平鮑海郡計	6	14	11			1			26
遊八松平鮑海郡計		13	2						21
遊八松平鮑海郡計		14	10						24
遊八松平鮑海郡計	24	56	54			7			141
郡計	74	322	430	8		75	66	56	1,089
県計	167	659	959	41	19	240	71	77	2,233

(単位 Km²)

固 結 堆 積 物									
ssp	altcsmr	ss	mdt	md	altsm	altcsmc	altcsm	cg	計
		2		7					9
	4	2	15	40	24		19	3	107
			27	20		13			60
13									13
11	17								28
7		2	17	8					34
				4					4
5	1	2	45	5					58
				2				4	6
				2					2
				13				2	15
39	6	27		36					108
				1					
75	28	35	104	138	24	13	19	9	445
1		7		11					19
1		12		2					15
2		19		13					34
2			2	2					6
1		2	67	15	10				95
22		23	8	29					82
11		14	34	34	2				95
36		39	111	80	12				278
25	15		1						41
25	15		1						41
1				26				4	31
				13					13
48	14			7					69
44				132					176
27				24					51
37				44					81
				180					180
157	14			426				4	601
				2					2
2	17		2	3		2			26
2	17		2	5		2			28
			29	55	41		21	60	206
		3	2	39					44
29	26	4	27	74	6		19	12	197
29	26	7	58	168	47		40	72	447
2				34			7		43
				11					11
				15					15
		2		2	13		7		17
2				62	13				86
			9	39		8		8	64
			9	39		8		8	64
8									8
20				19					39
8				14					22
19				66					85
55				99					154
308	62	67	141	892	72	10	47	84	1,733
383	90	102	245	1,030	96	23	66	93	2,178

ssp. 砂岩 (軽石凝灰岩を伴う) altcsmr 礫岩・砂岩・泥岩互層 (亜炭をはさむ) ss (砂岩) mdt 泥岩 (凝灰岩をとまなう) md 泥岩 altsm 砂岩・泥岩 altcsmc 礫岩・砂岩・泥岩互層 (石炭をはさむ) altcsm 礫岩・砂岩・泥岩互層 cg 礫岩

市 町 村	表 層 地 質	火 山 性 岩 石													
		Py	Si	Wt (III)	Tr	Ag(III)	Wt (II)	Ag(II)	Ag (I)	Wt(I)	Abq (I)	Ry			
山形市	米沢市	37			7	13			21						29
酒田市	新庄市	14		2	6	37	18	106	13			42			17
新井市	山形市	3							22	10		35			
上村市	山形市	2													3
尾南市	山形市	5			4			19	45						
尾南市	山形市	2			9			29				7			
尾南市	山形市	17			6		4	71	35			35			16
尾南市	山形市	14			4			17				27			13
尾南市	山形市	2				12			5						2
尾南市	山形市					20	4	12	70	2					25
尾南市	山形市					38			95	24					29
尾南市	山形市	3				13			32			1			14
尾南市	山形市	97		2	119	67	34	475	162	10	147				148
山形市	山形市	22				3									
山形市	山形市					1									
山形市	山形市	22				4									
河内町	北川町	5				3			51	9		18			10
河西町	朝日町	9				1				3					
大河町	大江町					6				8					
大河町	山形市	14				10			51	20		18			10
大河町	山形市	6													
大河町	山形市	6													
金谷町	山上町			17		35			27	33					
金谷町	真室川町	4							52	72					21
金谷町	大庭川町								13	1					2
金谷町	戸上町	4	19						5	147		31			7
金谷町	山形市	8	30	17	35				27						10
高川町	皇西郡				7	39	13	23	11						2
高川町	東置賜郡				7	39	13	23	11						2
小白町	国麿町	22					40	110	20						66
小白町	豊後町							16				2			2
小白町	西置賜郡	22					40	43							31
立余藤町	川島町	18							44						9
立余藤町	黒引町	2													
立余藤町	三朝町	58										7			
立余藤町	東田川町	50								3	3	1			
立余藤町	山形市	19													
立余藤町	山形市	147						18	38	32	33	33			23
立余藤町	山形市							64	41	35	58	58			32
温西町	海田川町														
温西町	山形市						1		53						1
温西町	山形市						1		53	6					1
遊八松町	佐幡山町	36										95			
遊八松町	平田町	19										40			1
遊八松町	海部町														
遊八松町	山形市	55							67						3
遊八松町	山形市								141			135			4
郡計		274	30	17	56	39	51	484	533	41	244				188
県計		371	30	19	175	106	88	959	701	51	391				336

Py 火山砕屑物、Si シラス、Wt(III) 溶結凝灰岩(第四系)、Tr 凝灰質岩石、Ag(III) 集塊岩および凝灰角礫岩(上部中新統~鮮新統)、Wt(II) 溶結凝灰岩(新第三系)、Ag(III) 集塊岩および凝灰角礫岩(中部中新統酸性火砕岩)、Ag(I) 同左(安山岩質火砕岩)、Wt(I) 溶結凝灰岩(中生界)、Abq 安山岩質岩石(第四系)、Ry 流紋岩質岩石。

(単位 Km²)

火山性岩石			変成岩			深成岩		合計
Ab	Bs	計	黒色片岩	ホルン フェルス	計	花崗岩類	計	
2		182				36	36	382
	4	252	11	7	18	81	81	549
	6	38				10	10	235
		3						174
		73						224
		50						141
12	1	197				1	1	241
		75						196
		37				135	135	215
		117				1	1	113
		187						206
3		78				29		375
17	11	1,289	11	7	18	293	293	160
2		27						3,211
		1						61
2		28						32
		5						93
30	1	131				157	157	51
		4				92	92	394
10		24				24	24	197
40	1	164				273	273	153
		6						795
		6						78
		83				15	15	78
23		197				42	42	161
		20						330
		175				9	9	120
16	7	109				38	38	374
		7						212
	6	54						122
39	13	645				104	104	262
1		96						1,581
	1	1				12	12	181
1	1	97				12	12	168
19	6	261		24	24	214	214	349
		42				41	41	739
		74		1	1	34	34	157
19	6	377		25	25	289	289	329
	9	97				22	22	1,225
		2						172
		65						59
1		58						63
		235		2	2	296	296	108
72		459		2	2	318	318	81
73	9							33
6	14	81				105	105	567
6	14	81				105	105	57
		131						1,103
1	4	139						255
		70						255
1	4	340						209
								204
181	48	2,195		27	27	1,101	1,101	43
198	59	3,484	11	34	45	1,394	1,394	179
								635
								6,114
								9,325

Ab 安山岩質岩石、Bs 玄武岩質岩石

2-5 土壤統群分布面積市町村別内訳

土 壤 統 群 市 町 村	岩 屑 土			未 熟 土		黒 ボ ク 土			
	高山岩屑性土壌	岩屑性土壌	計	砂丘未熟土壌	計	黒ボク土壌	多湿黒ボク土壌	淡色黒ボク土壌	計
山形市	1	26	27	—	—	6	8	48	62
米沢市	—	60	60	—	—	27	8	13	48
鶴岡市	—	5	5	10	10	—	—	—	—
酒田市	—	—	—	49	49	—	—	9	9
新庄市	—	17	17	—	—	50	34	9	93
寒河江市	—	5	5	—	—	—	5	9	14
上山市	1	9	10	—	—	7	6	30	43
村山市	—	5	5	—	—	39	51	6	96
長井市	—	45	45	—	—	—	—	2	2
天童市	—	1	1	—	—	17	—	—	17
東根市	—	33	33	—	—	45	—	—	45
尾花沢市	—	27	27	—	—	43	32	64	139
南陽市	—	1	1	—	—	—	—	8	8
計	2	234	236	59	59	234	144	198	576
東村山郡									
山辺町	—	—	—	—	—	—	4	12	16
中山町	—	—	—	—	—	—	—	—	—
計	—	—	—	—	—	—	4	12	16
西村山郡									
河北町	—	—	—	—	—	—	2	1	3
西川町	2	46	48	—	—	1	—	—	1
朝日町	1	20	21	—	—	—	—	30	30
大江町	—	9	9	—	—	—	—	0	—
計	3	75	78	—	—	1	2	31	34
北村山郡									
大石田町	—	—	—	—	—	36	9	—	45
計	—	—	—	—	—	36	9	—	45
最上郡									
金山町	—	13	13	—	—	0	17	14	31
最上町	—	30	30	—	—	50	9	45	104
舟形町	—	5	5	—	—	48	2	13	63
真室川町	—	26	26	—	—	33	7	34	74
大蔵村	—	16	16	—	—	60	—	—	60
鮭川村	—	5	5	—	—	31	4	19	54
戸沢村	—	29	29	—	—	31	0	9	40
計	—	124	124	—	—	253	39	134	426

(单位 Km²)

褐色森林土								計
乾性褐色森林土壤	乾性褐色森林土壤 (黄褐色)	乾性褐色森林土壤 (赤褐色)	褐色森林土壤	褐色森林土壤 (黄褐色)	褐色森林土壤 (赤褐色)	褐色森林土壤 (暗色系)	湿性褐色森林土壤	
48	5	10	66	4	5	—	—	138
75	—	5	134	—	18	15	—	247
13	—	25	43	—	20	—	—	101
—	—	2	—	—	2	—	—	4
10	7	2	24	0	3	—	—	46
19	4	4	35	—	0	—	—	62
33	—	17	63	—	16	—	—	129
27	2	2	42	—	—	—	—	73
16	—	8	17	—	20	—	—	61
11	—	—	25	—	—	—	—	36
34	4	—	48	—	—	—	—	86
54	6	0	85	—	—	1	—	146
9	—	37	48	—	7	—	—	101
349	28	112	630	4	91	16	—	1,230
4	3	11	6	—	7	—	—	31
—	0	6	4	—	4	—	—	14
4	3	17	10	—	11	—	—	45
2	—	3	9	—	—	—	—	14
70	1	—	139	1	—	—	—	211
27	9	3	58	3	—	—	—	100
36	6	0	72	—	—	—	—	114
135	16	6	278	4	—	—	—	439
8	—	—	9	—	—	—	—	17
8	—	—	9	—	—	—	—	17
29	3	3	51	—	0	—	—	86
35	—	—	73	—	—	—	—	108
9	10	—	18	0	—	—	—	37
71	5	1	108	—	13	—	1	199
27	1	—	29	—	—	—	—	57
11	2	3	23	1	—	—	—	40
40	—	0	99	—	—	—	0	139
222	21	7	401	1	13	—	1	666

土 壤 統 群 市 町 村	ポドソル			赤黄色土			褐色低地土		灰色低地土			
	乾性ポドソル土壌	湿性ポドソル土壌	計	赤色土壌	黄色土壌	計	細粒褐色低地土壌	計	細粒灰色低地土壌	灰色低地土壌	粗粒灰色低地土壌	計
山形市	16	8	24	3	10	13	27	7	7	13	1	21
米沢市	51	28	79	3	22	25	2	2	2	-	23	25
鶴岡市	1	-	1	4	2	6	1	1	4	1	-	5
酒田市	-	-	-	-	3	3	-	-	8	-	-	8
新庄市	8	5	13	1	11	12	11	1	3	-	0	3
寒河江市	2	3	5	-	11	11	-	-	0	19	9	28
上山市	5	5	10	2	10	12	3	3	2	-	6	8
村山市	3	0	3	3	-	3	-	-	-	2	-	2
長井市	19	7	26	5	6	11	-	-	8	13	9	30
天童市	1	-	1	-	-	-	7	7	-	21	-	21
東根市	10	2	12	-	-	-	-	-	-	4	-	4
尾花沢市	20	4	24	1	2	3	-	-	2	-	15	17
南陽市	-	-	-	3	9	12	-	-	4	-	-	4
計	136	62	198	5	86	111	51	1	0	73	63	176
東村山郡												
山辺町	-	-	-	-	2	2	-	-	1	2	-	3
中山町	-	-	-	-	-	-	-	-	-	8	-	8
計	-	-	-	-	2	2	-	-	1	10	-	11
西村山郡												
河北町	-	-	-	-	2	2	-	-	-	5	-	5
西川町	32	25	57	-	5	5	-	-	-	-	-	-
朝日町	14	4	18	-	3	3	-	-	-	-	-	-
大江町	5	2	7	-	4	4	-	-	2	-	-	2
計	51	31	82	-	14	14	-	-	2	5	-	7
北村山郡												
大石田町	-	-	-	-	-	-	1	1	6	-	1	7
計	-	-	-	-	-	-	1	1	6	-	1	7
最上郡												
金山町	8	1	9	2	1	3	-	-	-	-	3	3
最上町	49	4	53	-	-	-	-	-	-	-	8	8
舟形町	2	-	2	-	1	1	-	-	-	-	-	-
真室川町	26	0	26	-	-	-	-	-	-	-	9	9
大蔵村	31	4	35	-	-	-	-	-	-	-	-	-
鮭川村	1	0	1	-	-	-	-	-	7	-	1	8
戸沢村	7	1	8	-	1	1	-	-	1	-	-	1
計	124	10	134	2	3	5	-	-	8	-	21	29

(単位 km²)

グ ラ イ 土				泥 炭 土				岩 石 地	合 計
細 粒 グ ラ イ 土 壤	グ ラ イ 土 壤	粗 粒 グ ラ イ 土 壤	計	高 位 泥 炭 土 壤	低 位 泥 炭 土 壤	黒 泥 土 壤	計		
66	—	—	66	—	—	—	—	4	382
25	3	—	28	2	—	—	2	33	549
75	10	2	87	—	13	—	13	6	235
85	3	—	88	—	13	—	13	—	174
16	—	—	16	—	—	2	2	11	224
13	—	—	13	—	—	2	2	1	141
21	—	3	24	—	—	—	—	2	241
9	1	—	10	—	—	—	—	4	196
22	—	—	22	—	—	1	1	17	215
29	—	—	29	—	—	1	1	—	113
23	—	—	23	—	—	—	—	3	206
9	1	—	10	—	—	—	—	9	375
28	—	—	28	—	6	—	6	—	160
421	18	5	444	2	32	6	40	90	3211
9	—	—	9	—	—	—	—	—	61
10	—	—	10	—	—	—	—	—	32
19	—	—	19	—	—	—	—	—	93
27	—	—	27	—	—	—	—	—	51
12	—	—	12	1	—	—	1	59	394
11	—	—	11	—	—	—	—	14	197
13	—	—	13	—	—	—	—	4	153
63	—	—	63	1	—	—	1	77	795
8	—	—	8	—	—	—	—	—	78
8	—	—	8	—	—	—	—	—	78
6	2	—	8	—	—	—	—	8	161
5	—	—	5	—	—	—	—	22	330
8	—	—	8	—	—	—	—	4	120
10	—	—	10	—	—	—	—	30	374
8	—	—	8	—	—	—	—	36	212
11	—	—	11	—	—	—	—	3	122
22	—	—	22	—	—	—	—	22	262
70	2	—	72	—	—	—	—	125	1,581

土 壤 統 群 市 町 村	岩 屑 土			未 熟 土		黒 ボ ク 土			
	高山岩屑性土壌	岩屑性土壌	計	砂丘未熟土壌	計	黒ボク土壌	多湿黒ボク土壌	淡色黒ボク土壌	計
東置賜郡									
高島町	—	36	36	—	—	4	—	—	4
川西町	—	—	—	—	—	—	—	0	0
計	—	36	36	—	—	4	—	0	4
西置賜郡									
小国町	1	118	119	—	—	23	5	39	67
白鷹町	—	12	12	—	—	12	7	28	47
飯豊町	—	37	37	—	—	—	—	19	19
計	1	167	168	—	—	35	12	86	133
東田川郡									
立川町	2	28	30	—	—	21	—	5	26
余目町	—	—	—	—	—	—	—	—	—
藤島町	—	—	—	—	—	11	0	—	11
羽黒町	—	4	4	—	—	17	15	21	53
榎引町	—	3	3	—	—	—	7	13	20
三川町	—	—	—	—	—	—	—	—	—
朝日村	—	86	86	—	—	—	—	—	—
計	2	121	123	—	—	49	22	39	110
西田川郡									
温海町	—	10	10	—	—	—	—	11	11
計	—	10	10	—	—	—	—	11	11
鮑海郡									
遊佐町	12	4	16	18	18	36	10	17	63
八幡町	0	10	10	—	—	32	—	17	49
松山町	—	—	—	—	—	—	—	13	13
平田町	—	12	12	—	—	—	—	33	33
計	12	26	38	18	18	68	10	80	158
合 計	20	793	813	77	77	680	242	591	1,513

(单位 Km²)

褐色森林土								計
乾性褐色森林土壤	乾性褐色森林土壤 (黄褐色)	乾性褐色森林土壤 (赤褐色)	褐色森林土壤	褐色森林土壤 (黄褐色)	褐色森林土壤 (赤褐色)	褐色森林土壤 (暗褐色)	湿性褐色森林土壤	
34	—	—	35	—	—	—	—	69
10	4	15	18	12	22	—	—	81
44	4	15	53	12	22	—	—	150
90	—	8	163	—	—	—	—	261
15	2	3	35	—	4	—	—	59
68	7	—	100	5	—	—	—	180
173	9	11	298	5	4	—	—	500
30	—	1	35	—	4	—	—	70
—	—	—	—	—	—	—	—	—
—	—	—	—	—	3	—	—	3
1	—	—	13	—	2	—	—	16
4	—	2	22	—	—	—	—	28
—	—	—	—	—	—	—	—	—
92	—	23	146	—	—	—	—	261
127	—	26	216	—	9	—	—	378
60	—	9	128	—	6	—	—	203
60	—	9	128	—	6	—	—	203
9	—	—	34	—	—	—	—	43
41	—	0	55	—	7	—	—	103
1	—	3	4	—	3	—	—	11
36	—	2	51	—	8	—	—	97
87	—	5	144	—	18	—	—	254
1,209	81	208	2,167	26	174	16	1	3,882

土 壤 統 群 市 町 村	ポ ド ソ ル			赤 黄 色 土			褐色低地土		灰 色 低 地 土			
	乾性 ポドソ ル土 壤	湿性 ポドソ ル土 壤	計	赤 色 土 壤	黄 色 土 壤	計	粗 粒 灰 色 低 地 土 壤	計	細 粒 灰 色 低 地 土 壤	灰 色 低 地 土 壤	粗 粒 灰 色 低 地 土 壤	計
東置賜郡												
高島町	3	-	3	-	4	4	-	-	5	3	6	14
川西町	-	-	-	7	6	13	-	-	2	-	-	2
計	3	-	3	7	10	17	-	-	7	3	6	16
西置賜郡												
小国町	00	7	107	-	0	0	3	3	3	-	-	3
白鷹町	6	2	8	-	5	5	9	9	-	12	-	12
飯豊町	26	2	28	2	-	2	-	-	10	14	-	24
計	32	11	143	2	5	7	12	12	13	26	-	39
東田川郡												
立川町	1	11	22	-	-	-	-	-	-	5	12	17
余目町	-	-	-	-	10	10	-	-	0	10	-	10
藤島町	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	1
羽黒町	-	2	2	-	2	2	-	-	-	-	3	3
櫛引町	1	-	1	-	2	2	2	2	1	12	-	13
三川町	-	-	-	-	-	-	-	-	7	-	-	7
朝日村	56	23	79	1	1	2	3	3	3	-	-	3
計	68	36	104	1	15	16	5	5	12	27	15	54
西田川郡												
温海町	4	-	4	-	-	-	-	-	-	-	-	-
計	4	-	4	-	-	-	-	-	-	-	-	-
飽海郡												
遊佐町	7	13	20	-	-	-	-	-	3	1	1	5
八幡町	13	6	19	-	-	-	-	-	1	-	5	6
松山町	0	-	0	-	-	-	-	-	-	10	1	11
平田町	4	2	6	-	-	-	-	-	0	1	4	5
計	24	21	45	-	-	-	-	-	4	12	11	27
合 計	542	71	713	37	135	172	69	69	93	156	117	366

(単位 km²)

グ ラ イ 土				泥 灰 土				岩 石 地	合 計
細 粒 グ ラ イ 土 壤	グ ラ イ 土 壤	粗 粒 グ ラ イ 土 壤	計	高 位 泥 炭 土 壤	低 位 泥 炭 土 壤	黒 泥 土 壤	計		
34	5	—	39	—	7	1	8	4	181
72	—	—	72	—	—	—	—	—	168
106	5	—	111	—	7	1	8	4	349
25	6	—	31	—	—	—	—	148	739
3	—	—	3	—	—	—	—	2	157
20	—	—	20	—	—	—	—	19	329
48	6	—	54	—	—	—	—	169	1,225
10	—	—	10	1	—	—	1	16	192
39	—	—	39	—	—	—	—	—	59
48	—	—	48	—	—	—	—	—	63
13	—	10	23	—	—	—	—	5	108
8	—	3	11	—	—	—	—	1	81
26	—	—	26	—	—	—	—	—	33
9	—	—	9	—	—	—	—	124	567
153	—	13	166	1	—	—	1	146	1,103
5	14	—	19	—	—	—	—	8	255
5	14	—	19	—	—	—	—	8	255
30	2	—	32	—	3	—	3	9	209
14	—	—	14	—	—	—	—	3	204
8	—	—	8	—	—	—	—	—	43
21	—	—	21	—	—	—	—	5	179
73	2	—	75	—	3	—	3	17	635
966	47	18	1,031	4	42	7	53	636	9,325

3. 土地利用可能分級

3-1 土地利用可能性分級別面積市町村別内訳

(単位 km²)

土地利用可能 市町村	1類地	2類地	3類地	4類地	5類地	6類地	7類地	8類地 (未区分地)	合計	備考
山形市	82	29	57	56	82	60	2	14	382	
米沢市	30	54	59	134	90	138	38	6	549	
鶴岡市	77	9	40	88	4	7	6	4	235	
酒田市	97	2	19	54	—	—	—	2	174	
新庄市	15	31	79	48	5	32	12	2	224	
寒河江市	32	13	27	40	16	12	1	—	141	
上山市	17	27	36	75	57	26	3	—	241	
村山市	12	1	72	76	18	13	4	—	196	
長井市	41	16	15	34	18	75	16	—	215	
天童市	48	11	23	19	11	1	—	—	113	
東根市	28	1	42	38	40	50	4	3	206	
尾花沢市	6	32	100	133	41	55	8	—	375	
南陽市	29	7	38	46	40	—	—	—	160	
計	514	233	607	841	422	469	88	31	3,211	
東村山郡										
山辺町	10	—	8	37	6	—	—	—	61	
中山町	17	—	—	15	—	—	—	—	32	
計	27	—	8	52	6	—	—	—	93	
西村山郡										
河北町	29	—	10	12	—	—	—	—	51	
西川町	8	4	30	133	47	113	59	—	394	
朝日町	5	15	30	70	21	42	14	—	197	
大江町	9	6	18	83	20	13	4	—	153	
計	51	25	88	295	88	168	77	—	795	
北村山郡										
大石田町	11	3	29	35	—	0	—	—	78	
計	11	3	29	35	—	0	—	—	78	
最上郡										
金山町	4	11	25	79	15	25	2	—	161	
最上町	6	11	66	102	65	61	19	—	330	
舟形町	3	8	37	56	7	6	3	—	120	
真室川町	6	18	57	196	39	32	26	—	374	
大蔵村	4	3	50	54	19	47	35	—	212	
鮭川村	9	8	54	46	—	2	3	—	122	
戸沢村	16	9	49	116	24	29	19	—	262	
計	48	68	338	649	169	202	107	—	1,581	

(单位 km²)

土地利用可能性分級 市町村	1類地	2類地	3類地	4類地	5類地	6類地	7類地	8類地 (未区分地)	合計	備考
東置賜郡										
高島町	45	22	12	40	26	32	4	—	181	
川西町	71	10	47	40	—	—	—	—	168	
計	116	32	59	80	26	32	4	—	349	
西置賜郡										
小国町	25	11	41	259	78	155	170	—	739	
白鷹町	15	19	25	58	20	19	1	—	157	
飯豊町	33	17	23	124	36	77	19	—	329	
計	73	47	89	441	134	251	190	—	1,225	
東田川郡										
立川町	16	12	24	40	29	57	14	—	192	
余目町	50	9	—	—	—	—	—	—	59	
藤島町	50	0	5	8	—	—	—	—	63	
羽黒町	13	29	36	13	5	7	5	—	108	
榎引町	18	13	25	20	3	1	1	—	81	
三川町	32	—	1	—	—	—	—	—	33	
朝日村	12	7	24	136	99	174	115	—	567	
計	191	70	115	217	136	239	135	—	1,103	
西田川郡										
温海町	12	11	22	99	90	12	9	—	255	
計	12	11	22	99	90	12	9	—	255	
飽海郡										
遊佐町	31	14	52	58	6	29	19	—	209	
八幡町	12	5	30	112	18	23	4	—	204	
松山町	18	2	13	10	—	—	—	—	43	
平田町	17	7	22	99	21	8	5	—	179	
計	78	28	117	279	45	60	28	—	635	
合計	1,121	517	1,472	2,991	1,116	1,433	644	31	9,325	

3-2-1 土地利用可能性分級と地形区分との関連

(単位 km²)

市町村	土地利用可能性分級								合計	備考
	1類地	2類地	3類地	4類地	5類地	6類地	7類地	8類地 (未区分地)		
山地・火山地	14	147	555	2303	1098	1425	642		6,184	
丘陵地	18	52	297	440	12	5	—	—	824	
台地・段丘	119	111	422	99	6	3	2	6	768	
低地	970	207	198	149	—	—	—	25	1,549	
合計	1,121	517	1,472	2,991	1,116	1,433	644	31	9,325	

3-2-2 土地利用可能性分級と地形区分との関連

(単位 km²)

市町村	土地利用可能性分級								合計	備考
	1類地	2類地	3類地	4類地	5類地	6類地	7類地	8類地 (未区分地)		
0°～3° (S ₁)	1,121	396	492	65	0	5	13	31	2,123	
3°～8° (S ₂)	—	121	206	90	10	8	3	—	438	
8°～15° (S ₃)	—	—	774	284	79	68	13	—	1,218	
15°～30° (S ₄)	—	—	—	2,552	365	553	117	—	3,587	
30°～40° (S ₅)	—	—	—	—	662	799	348	—	1,809	
40°～ (S ₆)	—	—	—	—	—	—	150	—	150	
合計	1,121	517	1,472	2,991	1,116	1,433	644	31	9,325	

3-2-3 土地利用可能性分級と標高区分との関連

(単位 km²)

市町村	土地利用可能性分級								合計	備考
	1類地	2類地	3類地	4類地	5類地	6類地	7類地	8類地 (未区分地)		
低暖地帯(H ₁)	1,121	501	1,263	1,565	166	124	45	31	4,816	
山間地帯(H ₂)	—	16	209	1,423	740	400	270	—	3,058	
高冷地帯(H ₃)	—	—	—	3	210	909	329	—	1,451	
生産限界外地帯(H ₄)	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
合計	1,121	517	1,472	2,991	1,116	1,433	644	31	9,325	

3-2-4 土地利用可能性分級と土壌生産力との関連

(単位 km²)

市町村	土地利用可能性分級								合計	備考
	1類地	2類地	3類地	4類地	5類地	6類地	7類地	8類地 (未区分地)		
はなはだよい(P ₁)	1,121	40	48	37	4	—	—	13	1,263	
ややよい(P ₂)	—	477	525	1,528	428	69	2	15	3,104	
やや劣る(P ₃)	—	—	849	1,093	345	132	4	3	2,426	
劣る(P ₄)	—	—	—	323	237	496	23	—	1,079	
はなはだ劣る(P ₅)	—	—	—	—	102	736	615	—	1,453	
合計	1,121	517	1,472	2,991	1,116	1,433	644	31	9,325	

3-3 土地利用可能性分級別主要地域の概要

土地利用可能性分級 地域の概要		1 類 地	2 類 地	3 類 地
地 域 名		庄 内 平 野 (庄 内 地 域)	山 形、上 山 盆 地 (村 山 地 域)	新 庄 周 辺 丘 陵 地 (最 北 地 域)
地 形	傾 斜 (谷 密 度)	S ₁ (0 ~ 3°) 0 ~ 2	S ₁ S ₂ (0 ~ 8°) 2 ~ 7	S ₁ S ₂ S ₃ (0 ~ 15°) 7 ~ 13
	標 高 (植 栽 限 界)	5 ~ 100 ^m	100 ~ 300 ^m	150 ~ 400 ^m
表 層 地 質	岩 石 の 種 類 岩 石 の か た さ 時 代	沖 積 層 軟 第 四 紀	沖 積 層 火 山 泥 流 軟 第 四 紀	洪 積 層 砂 岩 軟 第 四 紀 ~ 第 三 紀
土 壤	農 田	土 壤 統 群 生 産 力 可 能 性 等 級	細 粒 グ ラ イ 土 壤 I	粗 粒 褐 色 低 地 土 壤 II
	畑	土 壤 統 群 生 産 力 可 能 性 等 級		粗 粒 褐 色 低 地 土 壤 II
	卓 地	土 壤 統 群 生 産 力 可 能 性 等 級		
	林 地	土 壤 統 群 地 位 等 級		褐 色 森 林 土 II
水 利 用	地 表 水 地 下 水 天 水	○ ○ ×	○ ○ ×	○ ○ ×
気 候 区 分		裏 東 北	裏 東 北	裏 東 北
面 積	土 地 利 用 可 能 性 類 地 別 面 積 累 内 合 計 (A)	1,121	517	1,472
	当 該 地 域 の 類 地 別 面 積 累 内 合 計 (B)	431	82	546
	% (B / A)	38	16	37

4 類 地	5 類 地	6 類 地	7 類 地	8 類 地	備 考
新庄周辺丘陵地 (最北地域)	蔵王火山地 (村山地域)	吾妻火山地 (置賜地域)	飯豊山地 (西部山間地域)	山 形 市	
S ₄ (15~30°) 13 ~ 22	S ₄ S ₅ (15~40°) 22 ~ 28	S ₄ S ₅ (15~40°) 14 ~ 24	S ₆ (40以上°) 22 ~ 34		
150 ~ 400 ^m	300 ~ 800 ^m	1000 ~ 2100 ^m (800)	500 ~ 2100 ^m (800)		
砂岩・礫岩 (火山噴出物) 中 (軟) (第四紀)第三紀	安 山 岩 硬 第 四 紀	安 山 岩 硬 第 四 紀	花 崗 岩 緑色凝灰岩 泥 岩 硬 先第三紀・第三紀	沖 積 層 軟 第 四 紀	
黒ボク土壤 II					
黒ボク土壤 III					
黒ボク土壤 II-III	褐色森林土壤 淡色黒ボク土壤 II ~ III	湿性ポドソル土壤 乾性ポドソル 岩屑性土壤 IV~V	岩 石 地 V		
○ △ ×	○ △ ×				○利用 △若干利用 ×利用せず
裏 東 北	裏 東 北	裏 東 北	裏 東 北	裏 東 北	
2,991	1,116	1,433	644	31	
865	230	245	391	14	
29	21	17	61	45	

3-4 土地利用可能性分級別市町村別内訳

市町村名	類地区区分		土地利用の現況											備考			
			水田		畑				草地		林地				空その他		
	面積 km ²	土占有 利用率	平 均 収 率	普通畑		樹園地		土占有 利用率	草 刈 地 の 種 類 均 率	人工林		天然林			土占有 利用率		
				土占有 利用率	主 要 作 物 の 平 均 収 量 率	土占有 利用率	主 要 樹 種 の 平 均 収 率			土占有 利用率	主 要 樹 種 の 平 均 収 率	土占有 利用率	主 要 樹 種 の 平 均 収 率				
1. 山形市	I	1.11	82	A	水稻 111			D	リンゴ 103								
	II	112, 122	29	B	水稻 105			C	リンゴ 98								
	III	113, 123 131, 132 222, 231 232	57	C	水稻 99			D	ブドウ 99		D	スギ 120	B	広 140			
	III	134, 142 143, 144 223, 233 242, 243	56			D	大豆 99				D	スギ 120	A	広 100			
	V	153, 154 234, 244 252, 253 332, 342, 343	82								D	スギ 90	A	広 60			
	VI	255, 334 344, 352 354, 355	60								D	スギ 40	A	広 30			
	VII	340, 350	2										A				
	VIII		14													A	市街地
市町村計		382															

2. 米沢市	I	1.11	30	A	水稻 111												
	II	112, 122	54	A	水稻 105												
	III	113, 123 132, 133 212, 222 232	59	D	水稻 99	D	大豆 93				D	スギ 140	C	広 120			
	III	141, 142 143, 223 233, 242 243	134								D	スギ 100	A	広 80			
	V	252, 253 254, 332 342, 343	90								D	スギ 70	A	広 50			
	VI	245, 255 344, 354 355	138										A	広 30			
	VII	240, 340 350, 354, 360	38										A				
	VIII		6													A	市街地
市町村計		549															

3-4 土地利用可能性分級別市町村別内訳

市町村名	類地区区分		土地利用の現況												備考		
			水田		畑				草地		林地					その他	
	面積 km ²	土占有率 %	平均収率 %	土占有率 %	主要作物 おおよそ	平均収率 %	土占有率 %	平均収率 %	土占有率 %	平均収率 %	土占有率 %	平均収率 %	土占有率 %	平均収率 %		土占有率 %	
3. 鶴岡市	I	111	77	A	水稲												
	II	112	9	B	水稲							C	スギ	広	C	170	
	III	113, 131 132, 133	40	C	水稲							D	スギ	広	D	140	
	III	114, 124 134, 142 143, 144 242, 243	88									C	スギ	広	B	120	
	V	152, 154 252, 254	4											広	A	100	
	VI	145, 155 245	7									C	スギ	広	B	30	
	VII	110, 130	6												A		
	VIII		4														A
市町村計		235															

4. 酒田市	I	111	97	A	水稲												
	II	112, 122	2	C	水稲							C	スギ	広	B	70	
	III	113, 132	19	B	水稲									広	D	40	
	III	114, 124 142, 143	54	A	水稲	D	大豆										
	V																
	VI																
	VII		—														
	VIII		2														A
市町村計		174															

3-4 土地利用可能性分級別市町村別内訳

市町村名	類地区分		土 地 利 用 の 現 況											備 考						
			水 田		畑				草 地		林 地				空その他					
	面 積 km ²	土 占 利 用 率	平 均 収 率	普 通 畑		樹 園 地		土 占 利 用 率	草 地 の 種 類	土 占 利 用 率	人 工 林		天 然 林		土 占 利 用 率					
土 占 利 用 率				主 要 作 物 の 平 均 収 量 率	土 占 利 用 率	主 要 樹 種 の 平 均 収 率	土 占 利 用 率				主 要 樹 種 の 平 均 収 率	土 占 利 用 率	主 要 樹 種 の 平 均 収 率							
5. 新 庄 市	I	1.11	15	A	水稲															
	II	112, 121	31	A	水稲															
		122																	96	
	III	113, 123	79	C	水稲							スギ	広	160						
		132, 133										90	D						90	C
	III	134, 142	48																	
		143, 144 243																		
	V	152, 244	5																	
252, 253																				D
VI	255, 344	32																		
	345, 354																			
VII	250, 260	12																		
	350, 364																			
VIII		2																		
市 町 村 計		224																		A 市街地

6. 寒 河 江 市	I	111	32	A	水稲			D	リンゴ	115											
	II	112	13	A	水稲																
		114																			
	III	113, 132	27	D	水稲	大豆	D	115													
		108																			
	III	142, 143	40	D	水稲																
		144, 242 243																			103
	V	234, 252	16																		
253, 333 342																					
VI	245, 344	12																			
	354, 355																				
VII	350	1																			
VIII		—																			
市 町 村 計		141																			

3-4 土地利用可能性分級別市町村別内訳

市町村名	類地区分		土 地 利 用 の 現 況											備 考			
			水 田		畑				草 地		林 地				空その他		
	面積 km ²	土占有 率	平 均 収 率	土占有 率	主 要 作 物 お お 収 獲 率	土占有 率	主 要 樹 種 お お 収 獲 率	平 均 収 率	土占有 率	草 の 種 類 お お 収 獲 率	土占有 率	主 要 樹 種 お お 収 獲 率	平 均 収 率		土占有 率	主 要 樹 種 お お 収 獲 率	土占有 率
5. 新庄市	I	1.11	15	A	水 稻 101												
	II	112, 121 122	31	A	水 稻 96												
	III	113, 123 132, 133	79	C	水 稻 90						D	スギ 90	C	広 160			
	IV	134, 142 143, 144 243	48								D	スギ 80	A	広 120			
	V	152, 244 252, 253	5								D	スギ 50	A	広 80			
	VI	255, 344 345, 354	32										A	広 30			
	VII	250, 260 350, 364	12										A	広 10			
	VIII		2													A	市街地
市町村計		224															

6. 寒河江市	I	111	32	A	水 稻 120		D	リンゴ 115									
	II	112	13	A	水 稻 114												
	III	113, 132	27	D	水 稻 108	D	大 豆 115				D	スギ 80	C	広 110			
	IV	142, 143 144, 242 243	40	D	水 稻 103						D	スギ 80	A	広 80			
	V	234, 252 253, 333 342	16										A	広 50			
	VI	245, 344 354, 355	12										A	広 30			
	VII	350	1										A				
VIII		—															
市町村計		141															

3-4 土地利用可能性分級別市町村別内訳

市町村名	類地区分		土 地 利 用 の 現 況											備 考	
			水 田		畑				草 地		林 地				空その他
	面 積 km ²	土 占 地 利 用 率	平 均 収 取 率	普 通 畑		樹 園 地		土 占 地 利 用 率	草 地 の 種 類 均 率	人 工 林		天 然 林			土 占 地 利 用 率
				土 占 地 利 用 率	主 要 作 物 の 平 均 収 取 率	土 占 地 利 用 率	主 要 樹 種 の 均 率			土 占 地 利 用 率	主 要 樹 種 の 均 率	土 占 地 利 用 率	主 要 樹 種 の 均 率		
上 山 市	I	111	17	水 稲 A	104										
	II	112、122	27	水 稲 B	98	D	大 豆 86	D	ブ ド ウ 108						
	III	123、132 133、222 232	36	水 稲 D	92							広 A	190		
	III	142、143 233、241 242、243	75							ス ギ D	120	広 A	140		
	V	244、252 253、254 342、343	57							ス ギ C	90	広 B	90		
	VII	245、344 353、354	26							ス ギ C	60	広 B	40		
	VII	340、350	3									広 A			
	VIII		—												
市 町 村 計		241													

山 村 市	I	111	12	水 稲 A	107										
	II	112	1					A	桑 131						
	III	113、123 132、133	72	水 稲 B	101	D	大 豆 112	D	桑 131		ス ギ D	130	広 C	180	
	III	142、143 233、242 243	76								ス ギ D	100	広 A	130	
	V	152、153 252、253	18								ス ギ D	70	広 A	80	
	VI	344、355	13										広 A	40	
	VII	350	4										広 A		
	VIII		—												
市 町 村 計		196													

3-4 土地利用可能性分級別市町村別内訳

市町村名	類地区分		土 地 利 用 の 現 況											備 考			
			水 田		畑			草 地		林 地		その他					
	類 お含 さ性 よさ びれ 地区 分 包 る 式	面 積 km ²	土 占 地 利 用 率	平 穫 均 量 収 率	普 通 畑			樹 園 地		土 占 地 利 用 率	草 お 収 地 の 種 類 均 率	人 工 林			天 然 林		土 占 地 利 用 率
					土 占 地 利 用 率	主 要 作 物 お よ び 平 均 収 穫 量 率	土 占 地 利 用 率	主 要 樹 種 お よ び 平 均 収 穫 率	土 占 地 利 用 率			主 要 樹 種 お よ び 平 均 収 穫 率	土 占 地 利 用 率		主 要 樹 種 お よ び 平 均 収 穫 率		
9. 長井市	I	111	41	A	水 稻 106												
	II	112, 122	16	B	水 稻 100			C	桑 89								
	III	113, 132 133, 232	15									C	スギ 90	B	広 140		
	III	142, 143 144, 233 242, 243	34									D	スギ 90	A	広 90		
	V	252, 253 254	18											A	広 60		
	VI	255, 344 352, 354 355	75											A	広 40		
	VII	250, 350 360	16											A			
	VIII		—														
市 町 村 計		215															

10. 天童市	I	111	48	A	水 稻 114			D	りんご 105								
	II	112, 122	11	C	水 稻 108			B	りんご 100								
	III	113, 133 222	23					C	りんご 95					B	広 180		
	III	142, 242	19	D	水 稻 103							C	スギ 130	B	広 140		
	V	153, 253 343	11									C	スギ 90	B	広 90		
	VI	355	1											A	広 30		
	VII		—														
	VIII		—														
市 町 村 計		113															

3-4 土地利用可能性分級別市町村別内訳

市町村名	類地区区分		土 地 利 用 の 現 況											備 考				
			水 田		畑				草 地		林 地				その他			
	面積 km ²	土 地 利 用 率	平 均 収 率	土 地 利 用 率	主 要 作 物 お お 平 均 収 穫 量 率	土 地 利 用 率	主 要 樹 種 お お 平 均 収 穫 量 率	土 地 利 用 率	草 の 刈 り お お 平 均 刈 り 率	土 地 利 用 率	主 要 樹 種 お お 平 均 収 穫 量 率	土 地 利 用 率	主 要 樹 種 お お 平 均 収 穫 量 率		土 地 利 用 率			
11. 東根市	I	111	28	B	水稲 106			C	りんご 125									
	II	112	1									A	スギ 129					
	III	113, 132 133, 232	42 42			D	大豆 124	B	りんご 119						D	広 120		
	III	142, 143 144, 233 242, 243	38									D	スギ 90	A	広 110			
	V	152, 252 253, 254 332, 343	40									C	スギ 60	B	広 80			
	VI	245, 254 255, 344 352, 355	50											A	広 50			
	VII	265, 360	4												A			
	VIII		3												A	A		
市町村計		206																自衛隊、飛行場

12. 尾花沢市	I	111	6	A	水稲 105													
	II	112, 121 122	32	B	水稲 99	C	大豆 94					D	広 190					
	III	113, 123 131, 132 133, 222 232	100	C	水稲 94	D	大豆 94					C	広 160					
	III	134, 142 143, 144 233, 242 243	133	D	水稲 88					D	スギ 110	A	広 140					
	V	153, 244 252, 253 254, 343	41							D	スギ 80	A	広 90					
	VI	145, 155 245, 255 354, 355	55							D	スギ 30	A	広 30					
	VII	250, 350	8										A					
	VIII		-															
市町村計		375																

3-4 土地利用可能性分類市町村別内訳

市町村名	類地区分		土 地 利 用 の 現 況											備 考			
			水 田		畑				草 地		林 地				その他		
	面 積 km ²	土 地 利 用 率	平 均 収 率	普 通		樹 園 地		土 地 利 用 率	草 刈 地 の 平 均 率	人 工 林		天 然 林			土 地 利 用 率		
				土 地 利 用 率	主 要 作 物 平 均 収 率	土 地 利 用 率	主 要 樹 種 平 均 収 率			土 地 利 用 率	主 要 樹 種 平 均 収 率	土 地 利 用 率	主 要 樹 種 平 均 収 率				
13. 南陽市	I	111	29	A	水 稻												
	II	122	7			C	大 豆 92		C	りんご 89							
	III	113, 123 132, 133 222, 233	38	D	水 稻				D	ぶどう 96		D	スギ 170	B	広 100		
	III	124, 142 144, 241 242, 243	46									D	スギ 120	B	広 70		
	V	152, 154 234, 244 254	40									D	スギ 80	A	50		
	VI		-														
	VII		-														
	VIII		-														
市 町 村 計		160															

14. 山辺町	I	111	10	A	水 稻			D	りんご 89								
	II		-														
	III	123, 132 232	8	D	水 稻							D	スギ 130	A	広 170		
	III	134, 142 143, 144 233, 242 243	37	D	水 稻	D	大 豆 94	D	桑 104			D	スギ 100	B	広 120		
	V	234, 244 254	6									C	スギ 70	B	広 80		
	VI		-														
	VII		-														
	VIII		-														
市 町 村 計		61															

3-4 土地利用可能性分級別市町村別内訳

市町村名	類地区区分		土 地 利 用 の 現 況											備 考		
			水 田		畑				草 地		林 地				空その他	
	お含さ れさ れる 式 分 包 る	面 積 km ²	土 占 有 率	平 均 収 率	普 通 畑		樹 園 地		土 占 有 率	草 地 の 種 類	人 工 林		天 然 林		土 占 有 率	
					土 占 有 率	主 要 作 物 の 平 均 収 量	土 占 有 率	主 要 樹 種 の 平 均 収 率			土 占 有 率	主 要 樹 種 の 平 均 収 率	土 占 有 率			主 要 樹 種 の 平 均 収 率
15. 中山市	I	111	17	B	水 稻 117			C	りんご 91							
	II		-													
	III		-							D	スギ 80	A	広 110			
	Ⅲ	134、143 144	15													
	V		-													
	VI		-													
	VII		-													
	VIII		-													
市 町 村 計		32														

16. 河北町	I	111	29	A	水 稻 117											
	II		-													
	III	113、132 133	10	C	水 稻 111			C	りんご 107		D	スギ 80	C	広 110		
	Ⅲ	142、143 144	12								D	スギ 80	A	広 80		
	V		-													
	VI		-													
	VII		-													
	VIII		-													
市 町 村 計		51														

3-4 土地利用可能性分級別市町村別内訳

市町村名	類地区区分		土 地 利 用 の 現 況											備 考	
			水 田		畑				草 地		林 地				空その他
	面 積 km ²	土 占 地 利 用 率	平 均 収 率	普 通 畑		樹 園 地		土 占 地 利 用 率	草 地 の 平 均 収 率	人 工 林		天 然 林			土 占 地 利 用 率
土 占 地 利 用 率				主 要 作 物 の 平 均 収 率	土 占 地 利 用 率	主 要 樹 種 の 平 均 収 率	土 占 地 利 用 率			主 要 樹 種 の 平 均 収 率	土 占 地 利 用 率	主 要 樹 種 の 平 均 収 率			
西 川 町	I	111	8	A	水 稻 91										
	II	112	4	A	水 稻 85										
	III	113, 132 133, 222 232	30	D	水 稻 80					D	ス ギ 130	広 B 160			
	IV	142, 143 242, 243	133							D	ス ギ 100	広 A 110			
	V	152, 252 254, 322 332, 342 343	47							D	ス ギ 70	広 A 70			
	VI	245, 255 324, 334 344, 345 352, 353 354, 355	113									広 A 30			
	VII	250, 350	59									A			
	VIII		—												
市 町 村 計		394													

朝 日 町	I	111	5	A	水 稻 104										
	II	112, 122	15	D	水 稻 98		D	りんご 106				広 B 130			
	III	132, 232	30	D	水 稻 92							広 A 100			
	IV	134, 142 143, 144 242, 243	70							D	ス ギ 90	広 A 90			
	V	224, 244 252, 253 343	21							D	ス ギ 90	広 A 60			
	VI	255, 344 354, 355	42									広 A 20			
	VII	340, 350 360	14									A			
	VIII		—												
市 町 村 計		197													

3-4 土地利用可能性分級別市町村別内訳

市町村名	類地区分		土 地 利 用 の 現 況											備 考				
			水 田		畑				草 地		林 地				空その他			
	お含さ よさ びる 式	面 積 km ²	土 占 利 用 率	平 均 収 率	土 占 利 用 率	主 要 作 物 お よ び 平 均 収 量 率	土 占 利 用 率	主 要 樹 種	平 均 収 率	土 占 利 用 率	草 地 の 種 類	平 均 収 率	土 占 利 用 率		主 要 樹 種	平 均 収 率	土 占 利 用 率	空その他 土 占 利 用 率
大江町	I	111	9	A	水稻 100													
	II	112	6											広 A	140			
	III	132, 232	18	D	水稻 98			りんご D	98					広 B	130			
	III	141, 142 143, 144 241, 242 243	83		水稻 92								スギ D	100	広 A	100		
	V	152, 252 253, 343	20										スギ D	70	広 A	60		
	VI	245, 255 344, 354	13										スギ D	30	広 A	30		
	VII	250, 350	4												A			
	VIII		-															
市町村計		153																

大石田町	I	111	11	A	水稻 100												
	II	112	3	A	水稻 94												
	III	113, 133	29	B	水稻 89	D	大豆 96							広 B	150		
	III	143, 233 243	35	D	水稻 83								スギ D	80	広 A	110	
	V	-	-														
	VI	344	0														
	VII		-														
	VIII		-														
市町村計		78															

3-4 土地利用可能性分級別市町村別内訳

市町村名	類地区区分		土 地 利 用 の 現 況												備 考	
			水 田		畑				草 地		林 地					空その他
	示 性 区 分	面 積 km ²	土 地 利 用 率	平 均 収 率	土 地 利 用 率	主 要 作 物 お お 平 均 収 穫 量 率	土 地 利 用 率	主 要 樹 種 お お 平 均 収 穫 率	土 地 利 用 率	草 の 種 お お 平 均 収 穫 率	土 地 利 用 率	主 要 樹 種 お お 平 均 収 穫 率	土 地 利 用 率	主 要 樹 種 お お 平 均 収 穫 率		土 地 利 用 率
21. 金山町	I	111	4	A	水稻 89											
	II	112	11	B	水稻 83	D	大豆 86						C	スギ 150		
	III	113、132 133、232	25	B	水稻 78								D	スギ 120	D	広 160
	III	142、143 144、242 243	79										C	スギ 110	B	広 120
	V	154、244 252、253 254	15										D	スギ 70	A	広 80
	VI	155、245 255、344 354	25												A	広 30
	VII	364	2												A	
	VIII		—													
市町村計		161														

22. 最上町	I	111	6	A	水稻 107											
	II	112	11	A	水稻 101											
	III	113、123 132、133 123、222	66	D	水稻 96				D		C	スギ 140	C	広 150		
	III	142、143 242、243	102						—		C	スギ 100	B	広 110		
	V	152、244 252、253 254	65								D	スギ 90	A	広 80		
	VI	245、253 255、344 354、355	61								D	スギ 30	A	広 40		
	VII	250、350 360	19										A			
	VIII		—													
市町村計		330														

3-4 土地利用可能性分級別市町村別内訳

市町村名	類地区分		土 地 利 用 の 現 況													備 考		
			水 田			畑				草 地		林 地			空その他			
	類地区区分	含さる式	面積 km ²	土占有 利用率	平穫 収率	普通畑		樹園地		土占有 利用率	草おの 地の種 類	草おの 地の平 均収率	人工林		天然林		土占有 利用率	
土占有 利用率						主 要 作 物 の 平 均 収 量 率	土占有 利用率	主 要 樹 種 の 平 均 収 率	土占有 利用率				主 要 樹 種 の 平 均 収 率	土占有 利用率	主 要 樹 種 の 平 均 収 率			
23. 舟形町	I	111	3	A	水稻	102												
	II	112, 122	8	D	水稻	96						B	スギ 120	D	広 180			
	III	113, 123 132, 133	37	B	水稻	91								C	広 140			
	III	124, 134 142, 143 144, 243	56									D	スギ 90	A	広 130			
	V	152, 244 254	7											A	広 90			
	VI	245, 255	6											A	広 30			
	VII	130, 250	3											A				
	VIII		—															
市町村計			120															

24. 真室川町	I	111	6	A	水稻	92												
	II	112, 122	18	B	水稻	87	D	大豆 86				D	スギ 150	C	広 160			
	III	113, 123 132, 133	57	D	水稻	81	D	大豆 86					スギ 130	B	広 130			
	III	134, 142 143, 144 233, 242 243	196									C	スギ 110	B	広 120			
	V	244, 252 253, 254	39									D	スギ 100	A	広 80			
	VI	145, 155 245, 255 344, 353 354	32									D	スギ 80	A	広 40			
	VII	140, 240 260, 264, 265	26											A	広 10			
	VIII		—															
市町村計			374															

3-4 土地利用可能性分級別市町村別内訳

市町村名	類地区区分		土地利用の現況											備考		
			水田		畑				草地		林地				その他	
	面積 km ²	土占有 率	平均 収率	普通畑		樹園地		土占有 率	草 地 の 種 類	土占有 率	人工林		天然林		土占有 率	
				土占有 率	主 要 作 物 お よ び 平 均 収 率	土占有 率	主 要 樹 種 お よ び 平 均 収 率				土占有 率	主 要 樹 種 お よ び 平 均 収 率	土占有 率			主 要 樹 種 お よ び 平 均 収 率
25. 大蔵村	I	111	4	A	水稻											
	II	121	3	A	水稻											
	III	113、123 133、232	50	D	水稻						D	スギ	A	広 180		
	III	142、143 232、242 243	54								D	スギ	A	広 130		
	V	153、244 252、253 332、342 343	19								D	スギ	A	広 90		
	VI	145、245 255、324 334、344 354、355	47										A	広 30		
	VII	140、240 250、350	35										A			
	VIII		—													
市町村計		212														

26. 蛙川村	I	111	9	A	水稻												
	II	112、121 122	8	C	水稻								B	広 180			
	III	113、123 131、132 133	54	D	水稻	D	大豆					D	スギ	B	広 130		
	III	142、143 144、243	46									C	スギ	B	広 90		
	V	—	—														
	VI	145、245	2											A	広 20		
	VII	240	3											A			
	VIII		—														
市町村計		122															

3-4 土地利用可能性分級別市町村別内訳

市町村名	類地区分		土 地 利 用 の 現 況											備 考		
			水 田		畑				草 地		林 地				空その他	
	面 積 km ²	土 地 利 用 率	平 均 収 率	普 通 畑		樹 園 地		土 地 利 用 率	草 地 の 種 類 均 率	人 工 林		天 然 林			土 地 利 用 率	
				土 地 利 用 率	主 要 作 物 の 平 均 収 率	土 地 利 用 率	主 要 樹 種 の 平 均 収 率			土 地 利 用 率	主 要 樹 種 の 平 均 収 率	土 地 利 用 率	主 要 樹 種 の 平 均 収 率			
27. 戸 沢 村	I	111	16	A	水 稻 84											
	II	122	9	D	水 稻 78							広 A	190			
	III	113, 103 131, 132 133	49	D	水 稻 72					D	ス ギ 130	広 A	150			
	III	142, 143 144, 242 243	116							D	ス ギ 90	広 A	140			
	V	152, 153 244, 252 254	24							D	ス ギ 80	広 A	100			
	VI	135, 145 155, 245 255, 344 345	29							D	ス ギ 60	広 A	20			
	VII	140, 240 250, 350	19									A				
	VIII		—													
市 町 村 計		262														

28. 高 畠 町	I	111	45	A	水 稻 113	D	大 豆 93									
	II	112	22	C	水 稻 108	D	大 豆 93	D	ぶ どう 87		D	ス ギ 130	広 C	150		
	III	113, 132	12	A	水 稻 102											
	III	142, 144 242, 243	40								C	ス ギ 90	広 B	100		
	V	252, 253 343	26								C	ス ギ 80	広 B	70		
	VI	135, 145 155, 245 255, 345	32								C	ス ギ 20	広 B	20		
	VII	140, 240 250	4										A			
	VIII		—													
市 町 村 計		181														

3-4 土地利用可能性分級別市町村別内訳

市町村名	類地区分		土 地 利 用 の 現 況											備 考	
			水 田		普 通 畑				樹 園 地		草 地		林 地		空その他
	面 積 km ²	土 占 地 利 用 率	平 均 収 率	土 占 地 利 用 率	主 要 作 物 の 平 均 収 量	土 占 地 利 用 率	主 要 樹 種 の 平 均 収 率	土 占 地 利 用 率	草 の 種 類 の 平 均 収 率	土 占 地 利 用 率	主 要 樹 種 の 平 均 収 率	土 占 地 利 用 率	主 要 樹 種 の 平 均 収 率		土 占 地 利 用 率
29. 川西町	I	111	71	A	水 稻 114										
	II	112, 122	10	A	大 豆 88										
		211													
	III	113, 123 132, 133 232	47							D	ス ギ 110	A	広 90		
		134, 233 234, 242 243													
	IV		40							D	ス ギ 80	A	広 60		
	V		—												
	VI		—												
VII		—													
VIII		—													
市町村計		168													

30. 小国町	I	111	25	A	水 稻 70										
	II	112, 122	11	D	水 稻 64							A	広 140		
		113, 132 133, 212 222, 232													
	III	141, 142 144, 242 243	259									A	広 90		
		152, 154 244, 252 253, 254 342													
	IV		78									A	広 60		
	V	115, 135 145, 155 245, 255 344, 352 354, 355	155									A	広 20		
		150, 240 250, 260 350, 360, 364													
VI		170									A				
VII		—													
市町村計		739													

3-4 土地利用可能性分級別市町村別内訳

市町村名	類地区分		土 地 利 用 の 現 況											備 考		
			水 田		普 通 畑		樹 園 地		草 地		人 工 林		天 然 林		空その他	
	面 積 km ²	土 占 地 利 用 率	平 均 収 率	土 占 地 利 用 率	主 要 作 物 の 平 均 収 率	土 占 地 利 用 率	主 要 樹 種 の 平 均 収 率	土 占 地 利 用 率	草 の 種 類 の 平 均 収 率	土 占 地 利 用 率	主 要 樹 種 の 平 均 収 率	土 占 地 利 用 率	主 要 樹 種 の 平 均 収 率		土 占 地 利 用 率	
白 鷹 町	I	111	15	A	水稻 106											
	II	112, 122	19	D	水稻 100	D	大豆 88	C	桑 113			D	スギ 160	D	広 150	
	III	113, 132 133, 232	25	D	水稻 95	D	大豆 88					C	スギ 130	C	広 120	
	III	142, 143 144, 223 233, 241 242, 243	58	D	水稻 89							C	スギ 110	B	広 100	
	V	224, 244 252, 253 254, 342 343	20									C	スギ 70	B	広 70	
	VI	255, 344	19											A	広 30	
	VII	350	1													
	VIII		—													
市町村計		157														

32. 飯 豊 町	I	111	33	A	水稻 105											
	II	112, 121 122, 221	17	C	水稻 99							C	スギ 130	C	広 150	
	III	132, 133 212, 232	23			D	大豆 83					C	スギ 100	B	広 120	
	III	134, 141 142, 143 233, 242 243	124									D	スギ 90	A	広 90	
	V	152, 244 251, 252 253, 342 343	36									D	スギ 60	A	広 70	
	VI	255, 344 354, 355	77											A	広 30	
	VII	140, 240 250, 265 350, 360, 364	19											A	広 10	
	VIII		—													
市町村計		329														

3-4 土地利用可能性分級別市町村別内訳

市町村名	類地区分		土 地 利 用 の 現 況											備 考					
			水 田		畑				草 地		林 地				空その他				
	類 お含 地よさ 区び性 分包る 式	面 積 km ²	土 占 地 利 用 率	平 獲 均 量 収 率	土 占 地 利 用 率	主 要 作 物 び 率	土 占 地 利 用 率	主 要 樹 種 び 率	平 均 収 獲 量 収 率	土 占 地 利 用 率	草 地 の 種 類 均 率	土 占 地 利 用 率	主 要 樹 種 び 率		平 均 収 獲 量 収 率	土 占 地 利 用 率	主 要 樹 種 び 率	平 均 収 獲 量 収 率	土 占 地 利 用 率
33. 立川町	I	111	16	A	水稻 91														
	II	121, 122	12	B	水稻 86								D	スギ 130	広 140				
	III	123, 132 133, 222 232	24										C	スギ 90	広 120				
	III	142, 143 233, 242 243	40										C	スギ 70	広 100				
	V	152, 153 244, 252 253, 254 333	29										D	スギ 60	広 60				
	VI	245, 255 324, 334 344, 345 355	57												広 20				
	VII	250, 340 350, 364	14												A				
	VIII		-																
市町村計		192																	

34. 余目町	I	111	50	A	水稻 99														
	II	112	9	A	水稻 93														
	III																		
	III																		
	V																		
	VI																		
	VII																		
	VIII																		
市町村計		59																	

3-4 土地利用可能性分級別市町村別内訳

市町村名	類地区区分		土 地 利 用 の 現 況											備 考		
			水 田		畑				草 地		林 地				空その他	
	面 積 km ²	土 地 利 用 率	平 穫 均 量 収 率	普 通 畑		樹 園 地		土 地 利 用 率	草 地 の 種 類 均 率	人 工 林		天 然 林			土 地 利 用 率	
				土 地 利 用 率	主 要 作 物 の 平 均 収 穫 量	土 地 利 用 率	主 要 樹 種 の 均 率			土 地 利 用 率	主 要 樹 種 の 均 率	土 地 利 用 率	主 要 樹 種 の 均 率			
35. 藤島町	I	111	50	A	水稲											
	II	112	0													
	III	113, 123	5		D	大豆				D	スギ	A	広	150		
		133														
	III	143	8							D	スギ	A	広	110		
	V		—													
	VI		—													
	VII		—													
VIII		—														
市町村計		63														

36. 羽黒町	I	111	13	A	水稲											
	II	112, 122	29	B	水稲				D	D	スギ	D	広	150		
	III	113, 123	36	B	水稲	D	大豆			D	スギ	C	広	130		
		132, 133														
	III	124, 142	13							C	スギ	B	広	110		
		143, 242									60					
	V	323, 333	5									A	広	30		
	VI	334, 344	7									A	広	10		
	345, 355															
VII	350	5									A					
VIII		—														
市町村計		108														

3-4 土地利用可能性分級別市町村別内訳

市町村名	類地区分		土 地 利 用 の 現 況											備 考		
			水 田		畑				草 地		林 地				空その他	
	面 積 km ²	土 地 利 用 率	平 獲 均 量 収 率	普 通 畑		樹 園 地		土 地 利 用 率	草 地 の 種 類 均 率	人 工 林		天 然 林			土 地 利 用 率	
土 地 利 用 率				主 要 作 物 の 平 均 収 獲 量	土 地 利 用 率	主 要 樹 種 の 平 均 収 獲 率	土 地 利 用 率			主 要 樹 種 の 平 均 収 獲 率	土 地 利 用 率	主 要 樹 種 の 平 均 収 獲 率				
37 楯 引 町	I	111	18	A	水 稻 105											
	II	112, 121	13	B	水 稻 99					D	ス ギ 140	C	広 170			
		122														
	III	113, 132	25	C	水 稻 93					D	ス ギ 100	C	広 140			
		222, 232														
	IV	142, 143	20							C	ス ギ 60	B	広 120			
		243														
	V	252, 254	3									A	広 70			
323																
VI	345	1									A	広 10				
	350															
VII		1									A					
VIII		—														
市 町 村 計		81														

38 三 川 町	I	111	32	A	水 稻 100	D	大 豆 99									
	II		—													
	III	113	1	A	水 稻 94											
	IV		—													
	V		—													
VI		—														
VII		—														
VIII		—														
市 町 村 計		33														

3-4 土地利用可能性分級別市町村別内訳

市町村名	類地区分		土 地 利 用 の 現 況											備 考		
			水 田		普 通 畑				草 地		林 地				空その他	
	面 積 km ²	土 地 有 利 用 率	平 穫 均 量 収 率	土 地 有 利 用 率	主 要 作 物 収 穫 率	土 地 有 利 用 率	主 要 樹 種 収 穫 率	土 地 有 利 用 率	草 刈 種 類 均 率	土 地 有 利 用 率	主 要 樹 種 収 穫 率	土 地 有 利 用 率	主 要 樹 種 収 穫 率		土 地 有 利 用 率	
39. 朝日村	I	111	12	A	水稻	95										
	II	112、122	7	B	水稻	90					C	スギ	140			
	III	131、132 133、232	24	D	水稻	84					C	スギ	110	広	B	160
	III	134、142 143、144 233、242 243	136								D	スギ	100	広	A	110
	V	152、244 252、253 254、322 329、333 342	99											広	A	70
	VI	145、155 245、255 344、354 355	174											広	A	30
	VII	150、240 250、264 340、350、360	115											広	A	
	VIII															
市町村計		567														

40. 温海町	I	111	12	A	水稻	82										
	II	112、122	11	D	水稻	76					C	スギ	170	広	B	140
	III	132、133 232	22	D	水稻	70					C	スギ	140	広	B	120
	III	142、143 144、223 233、242 243、343	99								C	スギ	120	広	B	100
	V	152、153 244、252 253	90								C	スギ	90	広	B	60
	VI	145、155 245、255 354	12											広	A	30
	VII	110、150 250	9											広	A	
	VIII		—													
市町村計		255														

3-4 土地利用可能性分級別市町村別内訳

市町村名	類地区分		土 地 利 用 の 現 況											備 考			
			水 田		畑				草 地		林 地				空その他		
	類地区分けの包含式	面積 km ²	土占有率	平穫均量 収率	普通畑		樹園地		土占有率	草おの取地平均率	人工林		天然林		土占有率		
土占有率					主要作物の平均収穫率	土占有率	主要樹種の平均収穫率	土占有率			主要樹種の平均収穫率	土占有率	主要樹種の平均収穫率				
41. 遊佐町	I	111	31	A	水稻 99												
	II	112, 121	14	D	水稻 93						B	スギ 130	D	広 150			
		122															
	III	113, 123	52	C	水稻 87	D	大豆 103					C	スギ 90	D	広 120		
		133, 332															
	III	124, 142	58									B	スギ 60	C	広 110		
		143, 233 242, 243															
	V	343	6										A	広 70			
VI	344, 354	29										A	広 30				
VII	340, 350 360	19										A					
VIII		-															
市町村計		209															

42. 八幡町	I	111	12	A	水稻 89											
	II	112, 121	5	B	水稻 84						C	スギ 140				
		123, 132														
	III	133, 232	30								B	スギ 120	C	広 180		
		242, 243 233														
	III	142, 143	112								B	スギ 100	C	広 130		
		242, 243 233														
	V	152, 253	18								D	スギ 90	A	広 80		
333, 343																
VI	245, 255	23								D	スギ 10	A	広 50			
	324, 344															
VII	240, 264 265, 340	4										A	広 10			
VIII		-														
市町村計		204														

3-4 土地利用可能性分級別市町村別内訳

市町村名	類地区分		土 地 利 用 の 現 況											備 考		
			水 田		畑				草 地		林 地				空その他	
	お含さ よさ びれ る 式	面 積 km ²	土 地 利 用 率	平 均 収 率	土 地 利 用 率	主 要 作 物 お よ び 平 均 収 率	土 地 利 用 率	主 要 樹 種 お よ び 平 均 収 率	土 地 利 用 率	草 の 種 類 お よ び 平 均 収 率	土 地 利 用 率	主 要 樹 種 お よ び 平 均 収 率	土 地 利 用 率		主 要 樹 種 お よ び 平 均 収 率	土 地 利 用 率
43. 松山町	I	111	18	A	水 稲 90											
	II	121, 122	2										A	スギ 120		
	III	123, 132	13		水 稲 85								A	スギ 90	D	広 100
	III	142, 143 144, 243	10										A	スギ 60	D	広 60
	V		—													
	VI		—													
	VII		—													
	VIII		—													
市町村計		43														

44. 平田町	I	111	17	A	水 稲 89											
	II	112, 122	7	B	水 稲 83								C	スギ 140	D	広 140
	III	123, 132	22	D	水 稲 78								A	スギ 120	D	広 120
	III	134, 142 143, 144 242, 243	99										C	スギ 100	B	広 100
	V	152, 153 244, 245 253	21										D	スギ 80	A	広 60
	VI	155, 255 245	8										D	スギ 30	A	広 30
	VII	140, 250 264	5												A	
	VIII		—													
市町村計		179														

1973年3月 印刷発行

縮尺20万分の1

土地分類図付属資料

山形県

編集発行 経済企画庁総合開発局国土調査課

印刷 株式会社 産業統計研究社
東京都渋谷区代々木3-24-3

